

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）  
（382）
2. 日時：令和4年6月6日 14時00分～16時50分
3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

忠内安全規制調整官、天野安全管理調査官、江崎企画調査官、  
角谷主任安全審査官、藤原主任安全審査官、三浦主任安全審査官、  
宮本主任安全審査官、伊藤安全審査官、小野安全審査官

日南川技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

大橋技術研究調査官

北海道株式会社：

原子力事業統括部 部長（審査・運営管理担当）、他8名

執行役員 原子力事業統括部 原子力部長 牧野 武史※、他9名※

## 5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本面談については、事業者から対面での面談開催の希望があったため、「緊急事態宣言解除を踏まえた原子力規制委員会の対応について」（令和4年3月9日 第70回原子力規制委員会配付資料）に基づき、一部対面で実施した。

## 6. その他

提出資料：

- （1）資料1 泊発電所3号炉 地震による損傷の防止（地下水位の設定）
- （2）資料2 泊発電所3号炉 ヒアリングにおける指摘事項に対する回答一覧表（地下水位の設定）

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	開始しました。
0:00:02	はい、藤山です。それでは本日のヒアリングと地下水位の設定に関するヒアリングを始めさせていただきますと思います。それでは本編の方で説明の方をお願いします。
0:00:17	北海道電力、小口よろしくお願ひ。
0:00:28	前回、4月25日
0:00:31	の一般ヒアリングをさせていただきましていただいたコメントを踏まえまして、前回参照コンテンツを作っていた事業から20構成。
0:00:39	ものに変更してお持ちしております。
0:00:43	前回3章に上げていった。
0:00:45	設備の信頼性に関わる部分については、これとは別に、また別途ヒアリングを重ねて、介護につなげていきたいというふうを考えて、
0:00:54	今回はその3、
0:00:56	小児以前対象ですねそこに繋がるところの、要求事項のようなものを明確化するところまでで、
0:01:04	ご説明をいただきたいと思っております。その都合ですね、この資料自体は耐震向上の
0:01:12	別紙、
0:01:13	この添付資料の説明ということになっておるんですけども、今お話したように、
0:01:18	参照側の方の説明がまだできていないということですので、そちら側に合わせて別紙2という添付資料については合わせて、まとめ資料という形で積みたいと思って、
0:01:32	明輝ちゃんです。今のお話、要は通常日審査会合においたと。
0:01:36	回路のパート資料でびっくり営業館野の資料が積まれるところ、今回それが
0:01:45	んなんですかね、そもそも。
0:01:48	前回出したものっていうのが要は一連の流れの方で、今回ちょっと住宅ローンいらっしゃったように、まず
0:01:56	全体の中でまとめられたと、だから今回の会合録が通が時間ある。
0:02:04	ものに対して、ちょっとこのパー年ウノイデとされると、そういう説明があったと理解しましたその辺でよろしいですか。
0:02:12	はい。オカノタグチです。今藤原さんがおっしゃった通り、
0:02:15	ご説明をいたしました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:17	はい、わかりました。じゃあ、引き続き説明の方をお願いします。
0:02:25	はい。北海道電力の伊藤でございます。
0:02:29	本編の方は、私の方から、あとそんなに座っている、見た目の方からご説明差し上げますよろしく願いいたします。
0:02:38	すいません冒頭少しちょっと経路の違う話であるマスキングの話は、
0:02:45	我々の面からもご指摘いただいて、多いということで、その機械も、
0:02:50	ご指導いただいているところですけども、
0:02:53	ちょっと今回、前回に比べれば、少し
0:02:57	マスキング対象減ってる部分ございますけれども、
0:02:59	引き続き、
0:03:02	会合に向けて、また
0:03:04	本件にかかわらず、全体のその取り組みとして、
0:03:07	セキネの考え方っていうのを改めて整理していかなきゃいけないなというふうには思っております。
0:03:12	それは最初に、
0:03:15	お話をさせていただきます。
0:03:17	地下水の話に移りますけれども、
0:03:21	今回、タグチの方からも説明ありましたけれども、
0:03:25	前回、ヒアリングでいただいた主な指摘ということで、大きな括りという
0:03:32	と、
0:03:32	うん。
0:03:33	北電さん、今回のこうを説明したいんですかというところが明確になっていない。
0:03:38	許可と、設工認で説明する内容が何か混在している資料になってないかというところ。
0:03:45	それからですね。
0:03:47	田口からもありましたけれども、ちょっと信頼性設備の信頼性の話を焦り過ぎ、
0:03:53	まず
0:03:55	潜航は、今あなたたち比較してなんですけども、Pとの違い、そのあたりを明らかにして、
0:04:01	また、その中で、
0:04:03	機能喪失したときどうなるんだっけっていうそういう話も重要だよな。
0:04:08	いうところ、この辺りを我々今回整理してお持ちしているつもりでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:14	コメント、資料 1 が本文資料でございます、
0:04:19	資料番号 2 に、資料 2 の方に、コメント、
0:04:25	指摘事項に対する回答一覧表ということで、ご用意してございますけれども、
0:04:30	今私が申し上げたようなところが、ちょっと順番があれなんですけれども、
0:04:37	コメントNo.の 5 番とか 6 番、つまりかなというふうに思ったので、
0:04:41	それ以外の、
0:04:42	資料 2 にある 123 については、
0:04:45	浸透流解析等に対する、地下水の設定側の方の個別まとめということで、
0:04:51	こちらも
0:04:53	すべて反映させていただいてるつもりで、今回反映箇所として、資料 2 の方に、
0:05:00	でございますので、
0:05:02	本社への説明とあわせて、お目で見ながら見ていただければなというふうに、
0:05:07	次第です。
0:05:09	はい。それでは資料の一番でご説明を差し上げます。
0:05:14	めくっていただきまして、
0:05:17	2 ページ目をお願いいたします。
0:05:20	1 ポチで、設計地下水位の設定の経緯と説明計画ということで、前回、
0:05:26	はじめにとして、何か書いていたところに代わるものとして、
0:05:31	全体説明計画がわかる、そのまま、そのうち今回どこなんだと。
0:05:36	ということをお示しする、項を設けております。
0:05:40	2 ポツとして、設計地下水の設定方針等についてということで、こちらがメイン部分になりますけれども、
0:05:47	こちらは基本的に 2 ポツの、
0:05:50	2.1 のところはですね。
0:05:52	前回ご説明内容と大きく趣旨変わらない部分、が多いかなと思いますけれども、
0:05:58	まとめ方ですとか、
0:06:01	いろいろいただいた指摘反映した形になっておりますので、こちらをメインで、
0:06:06	本日説明します。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:08	そのあと、2.2 ということで、地下水排水設備の設計に関わる前提条件、
0:06:14	ということで、後段で、そのタイミングは、ご調整させていただくということになってございますけれども、
0:06:22	今後のその設備の話をする。
0:06:25	にあたって、前提条件として、1 ポツと 2.1 までを踏まえて、考えたものを、
0:06:33	おつけしてる、そういう構成になってございます。
0:06:36	それから、添付資料も
0:06:37	一部流用してるものは分割したものとか新規のものがございまして、こちらも簡単に、主に 2.1 に紐づく添付資料になりますけれどもご説明したいと思います。
0:06:49	3 ページをお願いいたします。
0:06:53	これは 1 項で、全体説明計画ということで、
0:06:56	近くの
0:06:59	黄色の四角の中の、本校ではということで、
0:07:03	1 から 6 までまとめてますので、何をまとめるかっていうのは書いてある通りなんですけれども、
0:07:09	1 から 3 が、
0:07:12	地下水の設定に関わる検討が迫った経緯等、
0:07:16	でございます。
0:07:17	で、許認可と、設工認、各段階で何を説明するんですかというところが④でございます。
0:07:25	続きまして、先行プラントと比較した泊の設計的特徴ということで、⑤で、
0:07:33	後段でも出てきますけれども、頭でも、
0:07:36	ちょっと要点を載せています。
0:07:39	今回資料の説明があった⑥でございます、
0:07:43	何を説明するんですかというのが、簡単になってござい。
0:07:48	①、②その下でございますけれども、
0:07:51	こちらは前からお示しているスイモン環境ですとか、あと
0:07:56	それが包丁てを設置したことで、変わりますということを改めて記載させていただいているもので、詳細の説明は割愛いたします。
0:08:05	1-1 図は、一応ですね、前回、12 号機の排水設備の
0:08:10	見た目も少しどこか違ってというのが見えるようにして欲しいというお話を伺っております、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:16	ちょっと本当の概略になりますけれども、そのような形で反映しているつもりでございます。
0:08:23	4 スライドをお願いいたします。
0:08:27	③といたしまして、四角の中で、黄色の四角の中ですけれども、
0:08:32	冒頭テーマに伴い、影響を受ける可能性のある施設等ということで、
0:08:38	ここでは、赤字で記載しているところが重要なところとして、
0:08:44	記載してありますけれども、
0:08:46	防潮テレビ海側にあるその取水口ですとか、
0:08:51	具合、逆流防止、この辺りは、
0:08:54	対象ではないですと、それ以外を対象にしてもらおうということと、あとは、1-3 図の中では、斜面も、
0:09:05	明示的に示すようにと、そういうコメントをいただいておりますので、その反映として、
0:09:10	緑の発言でございます。
0:09:14	その上で、
0:09:16	④、5 ページ目をお願いいたします。
0:09:20	何が説明したいのかということは、説明事項は、矢羽根の二つというふうに思っております。
0:09:27	一つが設計地下水載せ、
0:09:29	もう一つが、その設定のために必要となる設備がある。
0:09:34	ただその要求事項を審査する。
0:09:38	二つのポイントがあるのかなというふうにお願いで考えてございます。
0:09:41	1-2 表の下青い表でございますけれども、その中で、
0:09:46	許可の段階と、
0:09:48	うん。
0:09:49	何を説明するんだということをマトリックスで、
0:09:52	お示した上で、
0:09:53	今回、資料の説明としては、赤枠でかかったと、出てくるんですよと。
0:09:59	後程また概要出てきますけれども、本日のご説明としては、せっかく設計地下水の設定方針のところですよ。
0:10:09	で、
0:10:10	内容としては、ヤマネに記載する内容でございます。それから、冒頭申し上げた、地下水排水設備の設計に係る前提条件を示します。
0:10:21	許可の段階ではその下の排水設備の設計方針についても、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:27	必要な機能を発揮するためのその達成の方針ですとかその辺りまでは、現時点においては説明が必要なのかなというふうに考えて、
0:10:38	右側の、
0:10:39	設工認段階は設計許可で説明した方針に対して、
0:10:45	具体的なその解析ですとか、評価の結果をお示しすると。
0:10:49	ということで、排水設備側ではポンプ容量、
0:10:52	必要なコンピューター等も、浸透流解析結果を踏まえて、
0:10:56	かなというふうに考え
0:10:57	ます。
0:11:00	続きまして、6 ページ目をお願いいたします。
0:11:03	こちらは
0:11:04	当先行プラントと比較した、泊設計、
0:11:08	ということで、
0:11:10	ちょっと全体的な説明計画のところとか、
0:11:14	年が離れるのかもしれない。
0:11:15	前提条件、設備に、
0:11:18	信頼性パターン上での前提条件を整理する上で必要な、
0:11:22	ということで、重要だろうということで、前の方に、資料の 1 ポツの中に取り込む
0:11:29	左側が泊。
0:11:31	3 号、BWRの例として右っかオノせてございますけれども、これは基本は、右下に図の方の下に新たな地下水っていう形。
0:11:45	ましてこのような施設を、
0:11:47	作られている電力さんを議論して、
0:11:51	可能な限りで確認して、もちろん概略図ですので反映し切れないところでありますけれども、
0:11:57	例としてお示ししている。
0:11:59	となります。
0:12:01	まず見た目結構違うところもございますけれども、共通して書いてますけれども、まず何が違うんだというところで一つ目。
0:12:10	機能に期待する施設等ということで、
0:12:13	我々、原子炉建屋等の資料建屋の
0:12:17	これは前回から、
0:12:20	きましたけれども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:22	BWRさんで、用水道を複数設けてる者さんでは、敷地広範囲の施設に対して、
0:12:32	地下水の低下を期待されているという、電力さんがございます。ここは違うところかなということで、
0:12:38	記載させていただいてます。
0:12:40	それから、原子炉建屋の構造と湧水量、二つ目でございますけれども、
0:12:46	見た目、おわかりいただける通りで、
0:12:50	地中に埋まってる部分の深さというのはかなり相違があるのではないかと。
0:12:55	我々、オオマサの状況をもろろんわかってまして、今、決めてるぐらいですけれども、
0:13:01	ABWRさんは結構深くて、20メートルとか3000億というのが共通的な、二つあるのかなというふうに考え
0:13:09	その深さが直接湧水量の話に繋がるのか否かというのは、それぞれの地盤の状況というのが、関係すると。
0:13:19	なので、直接の因果関係ってのはないのかもしれませんが、
0:13:24	基本的に、
0:13:25	BWRの方が湧水量というのは、駒田さんも含めて少ないのかなということで、
0:13:31	記載を入れて、
0:13:33	大丈夫。
0:13:35	あと、集水ピットの配置でございまして、三田植野通りで、我々
0:13:41	原子炉補助建屋内に流水ピックを設置して、ちょっと様子なんですけれども、そういう構成ですけれども、
0:13:51	BWRの方は、
0:13:53	サブドレンピットとして、建屋とは独立した会社。
0:13:57	一つ、家が埋戻し像の中に入っていて、
0:14:01	違う今MMRの中に入ってるような浅井さんもあるのかなというふうに思いますけれども、
0:14:07	ただ、建屋から独立したところにあるというのは、若干大きな違いとして、しております。
0:14:16	⑥、7ページ目をお願いいたします。
0:14:21	今回資料の説明概要ということで、この部分、後段続きますので、ざっと流しますけれども、2.1の設計地下水の設定方針、
0:14:30	設計地下水について方針を1から3でまとめ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:14:33	1 は、(1)は少し変わりますけれども、
0:14:38	基礎地盤周辺斜面については地表面に設定する。
0:14:42	ここ少し前回とかいうことで、後程詳しく説明します。(2)は
0:14:48	塩田瀬谷は、拠点、一番地下水、
0:14:52	地下水排水設備の機能に期待していきたい、設定し、
0:14:56	10メートル盤は、より高いところは10メートル盤は地方10メートル盤より交付、標高のところは、設工認段階の予測解析に基づき設計地下水を設定、
0:15:07	ここは変わってないかなと。
0:15:11	2.2 は、書いてある通りで、先ほど述べたような比較結果とあとのぐらゐの時間的裕度があるのかというような話を踏まえた上で、前提条件をまとめてますってということ。
0:15:22	ます。
0:15:25	これ以降、8ページからが、2.1の設計地下水位の設定方針ということになりますので、説明者を交代してミカミの方から説明いたします。
0:15:37	はい。
0:15:38	北海道電力の三上でございます。第2章、2.1、設計地下水の設定方針、こちらのパートにつきましては、前回4月25日の資料からの修正点を中心に、ご説明をさせていただきます。
0:15:52	8ページ目の(1)工認における設計地下水位設定の考え方ですけれども、こちら前回からの変更点ございませんでして、詳細な説明のほうは割愛をさせていただきたいと思っております。
0:16:05	9ページ目お願いいたします。
0:16:08	(2)新規制基準適合性審査における設計地下水の設定の基本的な考え方ということで、前回の資料をベースに修正を加えてございます。
0:16:18	膨張を設置することに伴いまして、敷地の地下水が上昇が想定されます。これに伴い栄養圧力上昇ですとか、液状化による動圧等の変化がございまして、施設等の耐震性に影響が及ぶ可能性があります。
0:16:33	これを踏まえまして、施設の設計の基本方針を以下の矢羽根に示してございます。
0:16:39	原子炉建屋等の主要建屋につきましては、地下水排水設備の機能に期待しまして、建屋基礎底面下に、設計地下水を保持することで、
0:16:49	栄養圧力影響、液状化影響を排除し、施設の機能が損なわれないように設計する方針といたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:58	それ以外の施設等につきましては、地下水排水設備の機能に期待をせず、浸透流解析による予測解析にて確認した、設計地下水を改めて設定した上で、
0:17:09	よう圧力、液状化、揺すり込み沈下等の変状を考慮した場合においても、施設の機能が損なわれないように設計する方針といたしました。
0:17:20	これを踏まえまして泊3号炉の設計地下水設定の基本的な考え方を下の123に記載してございます。
0:17:29	一つ目が、基礎地盤周辺斜面につきましては、設置許可段階で安定性評価が要求されますので、設計地下水位を地表面に設定いたします。
0:17:38	保管場所、アクセスルートにおいても、評価する斜面において同様に地表面といたします。
0:17:45	二つ目原子炉建屋との主要建屋につきましては、地下水排水設備の機能に期待しまして、建屋基礎底面所にセキ地下水を設定いたします。
0:17:55	三つ目①及び②以外の耐震重要施設、常設重大事故等対処施設、保管場所アクセスルートにつきましては、地下水排水設備の機能に期待しない場合の浸透流解析の予測解析結果に基づきまして、
0:18:11	設計地下水を設定いたします。
0:18:14	こちらの対象施設につきましては、後程ご説明させていただきます。
0:18:19	10ページ目お願いいたします。
0:18:22	こちら新たに追加した、スライドでございます。3次元浸透流解析を実施する目的を整理してございます。
0:18:30	各審査区分で、すいません、①設計地下水位の設定ということで、各審査区分で内容を整理してございます。
0:18:39	まず設置許可段階ですけれども、この時には、暫定の予測解析を実施しまして、地下水排水設備の機能に期待しない場合の地下水を確認し、
0:18:50	その結果を踏まえ、基礎地盤周辺斜面、及び、原子炉建屋等の主要建屋以外の施設等について、設計地下水の設定方針を策定いたします。
0:19:01	設工認段階におきましては、設置許可段階の方針に基づきまして、予測解析を実施し、その結果に基づいて具体的な設計地下水を設定する、このように目的を整理してございます。
0:19:14	二つ目の目的ですが、ポンプ容量の設定ということで、設工認段階において、予測解析を実施しまして、地下水排水設備に集水される湧水量を予測し、
0:19:26	地下水排水設備に必要となるポンプ容量を設定いたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:30	以上が目的になります。
0:19:33	11 ページ目お願いいたします。
0:19:37	こちら前回からの修正点につきまして、スライド左側のフローについて変更をしてございます。
0:19:44	まず、フローの右肩のところに凡例を示してございますけれども、審査区分、設置許可段階と設工認段階で色分けして設定してございます。
0:19:55	フローといたしましては、まず最初に(エ)解析モデルを作成いたしまして、ABモデルの妥当性保守性の確認ということで、前回再現解析と、名前だったんですけども、
0:20:09	今回妥当性検証解析ということで、変更させていただきました。
0:20:13	またこの解析が、1 時点のモデル化というところを、右側の破線の中に記載してございまして、この妥当性検証解析においては、2021 年度末時点のプラントの状態をモデル化しているということを記載してございます。
0:20:29	フローのCでは設計地下水の設定方針の策定ということで、予測解析の暫定を実施いたします。
0:20:36	この際のモデル化の対象と地域といたしましては防潮底を設置した後のプラント状態を表しているということでございます。
0:20:45	フローのティ設計地下水の設定につきましては、予測解析を行いまして、最後、将来的にかっこいいで、観測による設計地下水の検証をして参るというフローに変更してございます。
0:20:58	スライドの右側におきましては、
0:21:01	2-1 表になりますけれども、ABモデルの妥当性保守性の確認、こちら設置許可段階において実施するものですが、黒丸の三つ目。
0:21:12	こちらでポンプ容量の設定として使用するモデルの妥当性保守性を確認するという目的を、前回から追記してございます。
0:21:21	下のd、設計地下水の設定になりますが、こちら設工認段階のステップになりますけれども、二つ目の黒丸で、湧水量の予測解析結果に基づき、
0:21:32	包丁で設置後における地下水排水設備必要となるポンプ容量を設定するというこちらも目的を追加してございます。
0:21:41	12 ページ目お願いいたします。
0:21:44	こちらフローのAの解析モデルの作成のスライドになりますが、前回から追加した点といたしまして、黄色いハッチングの枠の二つ目になりますが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:55	こちら基本思想といたしまして、モデルの作成及び各種解析条件の設定にあたっては、保守的、解析性が高くなるようなモデルとなるように、
0:22:05	設定する方針ということを追記してございます。
0:22:09	また、中段の 2-2 表の三つ目の黒丸にございますが、モデル化対象時期は以下の通りということで、下の 2-4 図の妥当性検証解析モデル。
0:22:21	これが 2021 年度末時点のものであるということを記載いたしまして、詳細は追って添付資料 5 のほうを参照いただければと思います。
0:22:31	13 ページ目お願いいたします。
0:22:34	こちらでは、前のページでお示した 3 次元モデルのうち、
0:22:39	前回からの主修正といたしましては、丸の三つ目になりますけれども、妥当性検証解析用のモデルにおいて、地下水排水設備につきましては、1 から 3 号炉の集水管とサブドレンをモデル化しているということで、
0:22:54	2-5 図に示している通り、示してございます。
0:22:59	モデル化の考えといたしましては、集水管とサブドレンが設置されている位置に対応する、解析メッシュの格子接点を大気圧解放条件とすることで、
0:23:10	管理状態としてモデル化しており、おりまして、この各接点で湧出する水を合計し、地下水排水設備で排水する湧水量と設定してございます。
0:23:21	従いまして、ポンプ自体はモデル化していないというものでございます。
0:23:26	14 ページ目お願いいたします。
0:23:30	こちら、前回からの修正といたしましては、二つ目の丸になりますが、好条件を泊発電所における節積雪影響を除く時期、6 月から 11 月、
0:23:40	五名と振っておりますけれども、この※というところを下、その下に記載してございます。
0:23:47	積雪影響のない下記の好条件による解析水位、これと、下記の観測水位を比較することによりまして、解析モデルの妥当性、保守性の確認は、
0:23:57	可能であると考えておりますので、積雪影響を除く時期の 6 月から 11 月を降雨条件に設定したと、理由を追記させていただきました。
0:24:08	15 ページ目お願いいたします。
0:24:12	こちらは妥当性検証解析の定常の結果をお示しているスライドになりますけれども、前回からの修正といたしましては、三つ目の丸になってございまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:22	ポンプ容量の設定について、追記してございます。
0:24:26	2-4 の解析において算出された 3 号炉の地下水排水設備湧水量、これは観測地のポンプ揚水量、
0:24:36	を上回っておりますので、設工認段階におけるポンプ容量の設定に用いるは、解析モデルとしても、保守的なモデルとなっているということを確認してございます。
0:24:48	16 ページ目お願いいたします。
0:24:51	こちらは参考として実施した非定常解析の結果を示しているスライドでございまして、前回ご指摘を踏まえ、No.7 孔の結果を本スライドに追記してございます。
0:25:04	次の 17 ページにおきましては、No.9 孔ナンバー15 とす。前回のスライドから変更はございません。
0:25:13	18 ページ目お願いいたします。
0:25:16	こちらのスライドでは、予測解析結果を踏まえて、設計地下水位の設定方針を策定する対象施設等をリストアップしてございます。
0:25:25	対象施設につきましては 4 ページの方で、地下水の状況の影響を受ける可能性のある施設等のうち、基礎地盤周辺斜面及び、原子炉建屋等の主要建屋、こちらを除いたすべての
0:25:38	施設とするということで、2-9 の図、図と、2-5 表にお示してございます。
0:25:46	19 ページ目お願いいたします。
0:25:49	こちらにつきましては、予測解析で考える保守性を記載してございまして、前回からの修正点はございません。
0:25:58	20 ページ目お願いいたします。
0:26:00	こちら予測解析結果のコンター図を記載してございますが、内容について前回からの変更はございません。
0:26:09	21 ページ目お願いいたします。
0:26:12	ここは、9 ページ目でお示した内容について、設定方針の方を修正して、まとめて記載してございます。
0:26:20	方針を修正したところは、黄色いハッチングの①の箇所になりますけれども、基礎地盤周辺斜面については、設計地下水位を地表面に設定すると。
0:26:31	ということで、保管場所アクセスルート of 斜面を同様に、地表面とするところを、方針を変更して記載してございます。
0:26:40	22 ページ目お願いいたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:43	こちらは、前の 21 ページ目の内容の位置関係を図で示したものでございまして、前回からの変更はございません。
0:26:52	23 ページ目をお願いいたします。
0:26:55	こちら新たに追加したスライドになります。
0:26:58	請求地下水の設定方針における、泊 3 号炉の特徴について、先行サイトとの比較もあわせて整理をいたしました。
0:27:06	二つ目の矢羽根になりますけれども、主に耐震重要施設等が設置される泊 3 号炉でいう 10 円盤エリア、こちらの設計地下水につきましては、
0:27:19	泊 3 号の場合は、背地下水排水設備の機能に期待をせず、3 次元浸透流解析の予測解析結果を踏まえまして、保守的に地表面に設定する方針といたしましたが、
0:27:31	先行の島根 2 号炉 3 では、自然水より保守的に設定した水位ですとか、女川 2 号炉では、地下水水位低下設備を考慮した水位としている記載がございまして、そこが違うところとなっております。
0:27:47	比較表は右の 7 表に記載している通りでございます。
0:27:51	24 ページ目をお願いいたします。
0:27:54	こちらのフローでいう設計地下水の設定のステップになりますけれども、前回から変えた内容について、不確かさという言葉は前回、使用しておりましたが、それについて見直しでございます。
0:28:07	まずこちらの制度では、ATP10 円盤よりも高標高に設置される施設等、これらについて、設計地下水を設定する場合の設定例を示してございます。
0:28:19	3 次元浸透流解析によって獲られた予測解析水を参照しまして、これを包絡するように施設ごとに設計地下水を設定いたします。
0:28:29	具体的な方針を下のイメージ図に示してございまして、こちらは先行サイトさんに倣って、設定をしてございます。括弧Aということで、こちら予測解析に基づく、
0:28:42	地下水分布から、対象となる構造物の範囲において、平面状の最高水位を読み取り、構造物側面の水位といたします。
0:28:52	そしてBで、構造物周辺水位は、構造物側面の水位と、その側方地盤の最高水位を結ぶものとしたしまして、設定いたします。
0:29:02	場所によりましては、予測解析水が対象施設の底面標高を下回る場合がございますのでその際は、設計地下水を設定しないものといたします。
0:29:12	ということで、不確かさ等の考え方は、前回からなくなっております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:19	25 ページ目お願いいたします。
0:29:21	こちら前のページからの続きになりますけれども、内容といたしましては、裕度を考慮しなくてもよいかという点についてまとめてございます。
0:29:31	その点につきまして、まず一つ目の理由が、妥当性検証解析及び予測解析におきましても、十分保守的な考えを含んでいるということでございます。
0:29:43	またさらに、前のページでお伝えしました通り、予測解析結果の推移を包絡するように、地下水を設定するので、よって、予測解析の結果である水位にプラスアルファの裕度は考慮しないということで、問題ないと考えさせて、考えました。
0:30:00	26 ページにつきましては、将来の観測による設計地下水の検証を掲載してございまして、前回からの修正点はございません。
0:30:11	また、添付資料について簡単にご紹介させていただきますが、まず 37 ページ目、添付資料 2 の方をお願いいたします。
0:30:21	こちら、3 次元浸透流解析のモデルの条件等につきまして、妥当性検証解析と予測解析の方を横並びで比較表にしてお示ししてございます。
0:30:33	38 ページにも同様に比較とするということで、お示ししてございます。
0:30:39	続きまして 41 ページ目、添付資料 4 になりますけれども、こちらでは、3 号の建設時の設置許可時、こちらの時に実施した浸透流解析と、
0:30:50	今回実施する 3 次元浸透流解析の内容につきまして、こちらも横並びで比較表で記載をしております。
0:31:00	43 ページをお願いいたします。
0:31:02	添付資料 5 ということでこちらはモデル化対象時期につきまして経時的にお示ししてございます。
0:31:10	地下水排水設備の設置時期ですとか、敷地の地下水の観測期間、組織、モデルのモデルを作成した対象期間について、経時的にお示ししてございます。
0:31:24	また 47 ページお願いいたしますこちら添付資料の 6 になりますけれども、黄色ハッチングの三つ目の丸になります。
0:31:32	前回ご指摘を踏まえまして、埋め戻しのプレイヤーを使う方向につきましてのところを記載してございます。12 号炉との敷地と 3 号炉の敷地では、
0:31:44	埋戻量の性状が異なるものの、全体的に、敷地全体保守的に敷地全体の埋め戻しの 20% 粒径で 20 の

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:54	最低値から透水係数を設定しておりますので、1 から 3 号炉の敷地の埋め戻しの透水係数を同一として扱っても問題ないと考えている旨を追記してございます。
0:32:07	以上 2 点、1 の説明内容でございました。
0:32:15	はい。
0:32:17	再び北電イトウから、
0:32:20	27 ページに戻っていただきまして、
0:32:24	地下水排水設備の設置に係る前提条件の部分のご説明となります。
0:32:31	27 ページ、四角の中、丸の一つ目でございましてこれは再掲になります。規格結果とか、
0:32:38	を整理した上で、地下水排水設備の設計、設備設計、必要な前提条件を取りまとめる。
0:32:46	このために、
0:32:48	丸の二つ目ですけれども、具体的な説明内容と目的は、(1)から(3)の通りですということで、
0:32:55	まず(1)は、設備の配置とか構造をご確認いただくということでございます。写真等を張りつけてございます。
0:33:04	(2)。
0:33:06	先行プラント、これは主に主というか、BWRですけれども、その規格と、
0:33:12	ということで、冒頭申し上げた事故を含む一覧表を、
0:33:17	作成しておりますので、そちらをご確認いただくと。
0:33:22	加えまして、
0:33:23	前回、ヒアリングコメントで、
0:33:26	ヒアリングの際に、多く、
0:33:29	話があった機能喪失時の、
0:33:32	影響というところも、
0:33:34	一つ資料を起こしておりますのでそちらをご説明いたします。
0:33:38	それから(3)は、
0:33:41	資料全体を踏まえて、
0:33:43	地下水排水設備の設計で考慮する。
0:33:47	選定前提条件を取りまとめました。
0:33:49	こういうふうになってございます。
0:33:52	で、28 ページをお願いいたします。こちら辺、前回資料で一部入っていた部分で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:33:59	ですけれども、改めて、
0:34:03	必要なところは説明していきたいなというふうに
0:34:07	28 ページは見た通り、
0:34:09	このような配置になってると。
0:34:13	あります。
0:34:15	ですね、29 スライドをお願いいたします。これは下のピットの中の寸法 ですとか、エレベーションを示してございますけれども、
0:34:26	こちらで
0:34:28	修正した
0:34:30	地下水をですね、記載されているポンプで、概要にホース色、
0:34:36	に続く構造となって、
0:34:40	ATP。
0:34:41	下の丸ですけれども、TP-4.8 をちょっと小さくて、
0:34:46	ないんですけれども、ここ、この 4.85 の、
0:34:50	まで上がると、湧水ピットポンプが起動して、
0:34:54	5.35、TPマイナス 5.35 メートル。
0:34:58	で下がるということを
0:35:01	ずっと繰り返す間欠運転で、ポンプ 1 台起動というのが、通常の動きで ございます。
0:35:12	続きまして 30 ページをお願いいたします。
0:35:15	こちらは、断面図をフタミ図をお示しする。
0:35:20	基本サブドレン集水管、左と右で、
0:35:25	書いてますけれども、
0:35:27	OKの空間に入っていくって、体積を重点
0:35:31	ています。
0:35:33	サブドレンの方が、集水管より高情報ですね、に反対した。
0:35:39	上には、
0:35:41	オノのコンクリート流入防止剤、
0:35:46	あと、
0:35:47	亜鉛ってやっぱ写真を、下の、すみません 31 ページの、
0:35:51	写真を見ていただくと、ヒラタかなと思いますけれども、IFAポイント。
0:35:57	言い方次第というのものも、
0:36:01	施行されている、そういうものになってございます。
0:36:04	サブドレンの方はですね、合成繊維間ということで、こちらの何ていうか
0:36:13	繊維状になっていて、額面の衛藤。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:18	作る前の状態のような、菅でございますので、ここはちょっとカメラが入るような、そういう構造にはなっていないというところで、そこは集水管、右側の集水管とは、
0:36:32	状況が異なる場所であると我々は認識しております。
0:36:36	31 ページ目をお願いいたします。こちらは、
0:36:39	写真、建設時の写真でございます、
0:36:43	集水管%ドレーン、先ほど申し上げたそれに対する
0:36:48	ものが示している状況でございます。
0:36:53	32 ページをお願いいたします。
0:36:58	先ほど、図でお示したのは、
0:37:02	2 ページでございましたけれども、こちらでお示した
0:37:07	際は、赤字で、
0:37:10	改めて強調して書いて、
0:37:12	うん。
0:37:13	それ以外で、
0:37:15	何か特徴的な違いというところは大きくないのかなと思うんですけれども、
0:37:21	例えば、設備仕様の排水ポンプのところ
0:37:25	こちら我々は湧水ピットに縦型ポンプ 2 台設置ということで、電動機が建屋側の方に上に出てますけれども、
0:37:38	PWRの例で見ると、基本的に水中ポンプということで投げ込み式のような、水中で、
0:37:44	工藤。
0:37:46	或いは、そういうものを使われているのかなという。
0:37:50	それから、一番下のですね、湧水量については、我々、これまで調停がない岩着構造の防潮堤外条件ですけれども、これまで 100 立米パーティー
0:38:05	ぐらいが過去最高の容量フェアあったことに対して、
0:38:10	新設を作られたところの審査資料なんかを拝見しますと、これまでの
0:38:17	同じように、傍聴へ、
0:38:19	後輩ですとか包丁駅がない。
0:38:22	条件で、川柳、/dayとか、2000 立米/dayとかそういう記載がございますので、それをもって、
0:38:31	1019%。
0:38:33	以上というふうに、30 ページのスライドの一番下のところには、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:38	記載しているものでございます。
0:38:42	33 スライドをお願いいたします。こちらは機能喪失した場合の影響ということで、
0:38:50	ちょっと大げさなんですけれども事象進展フローは、2-18 ということで左側の図でお示してございます。
0:38:58	どういう。
0:38:59	フローを想定したかということ、まず①番として、
0:39:04	地下水排水設備の排水金を創出します。
0:39:07	これはポンプが両方動かないとか配管が閉塞しちゃうとかちょっと具体的な想定ではないんですけども、仮にそうなった場合どうなるのかということで、
0:39:17	フローを作ってます。
0:39:19	②、これが
0:39:21	機能喪失オオタになると、
0:39:24	水位高警報が発報しています。そこで初めて我々
0:39:29	運転員がおかしいということを検知します。
0:39:32	③番で、細井は、
0:39:36	見ながら、はけないのでどんどん水が入ってくるので、
0:39:41	水位が上がり続けます。で、
0:39:44	ですね、TP-4.75 っていう②でお示してるエレベーション右の図で、
0:39:51	ご覧いただくとわかるんですけれども、もう集水管の下端と、
0:39:56	同じレベルまで来ておまして、
0:40:00	ここで警報が出て、これ以降どうなるのかということ、
0:40:06	集められた地下水ですね。
0:40:10	湧水ピット、この上に書いてピット内にもたまるんですけれども、
0:40:15	同時に、集水管の方に、
0:40:18	溜まっていく
0:40:20	ということになります。
0:40:21	日常水が、
0:40:24	④番、湧水ピットと集水管、貯留量が一定量を小売と
0:40:32	原子炉補助建屋に通常時に対応しないよう圧力が生じると。
0:40:37	いうことで書いてますけれども、こうなりますと、
0:40:40	建屋設計の前提条件を逸脱する恐れがあります。
0:40:44	いうことで、貯留量が一定量というふうに書きましたけれど、
0:40:47	こちらの※1に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:49	右側ちょっと小さくて申し訳ないんですけども、
0:40:52	湧水ピットの容量と、集水管の容量を保守的に出すと、大体 9. 30 名ぐ らいで、
0:41:00	これは表 2-4 でお示した湧水量、
0:41:05	割りますと、大体 4.5 時間ぐらいになります。
0:41:09	で、マイナス 4. 二名。
0:41:13	とるとするのは、2-14
0:41:17	は、
0:41:21	すみません前後します。28 ページ目に、2-14 図がございますけれど も、
0:41:27	こちらの下の方の図で、
0:41:29	原子炉補助建屋左側にありまして、TP-ウノで見える。
0:41:35	こちら側の一番低いところにある集中化ということで、この同じレベルに ある集水管、
0:41:42	に、許されるというか、集水管の貯水量を計算したものが、33 ページの
0:41:51	この位置に記載している。
0:41:53	4080 日という値でございます。これを、
0:41:57	オーバーすると、4 点、2 メートル。
0:42:01	と集水管の上端の高さってのはもうちょっと、
0:42:05	差があって、もう少し
0:42:07	体積が溜まるところとか、水がたまるのかなと思いつつ、
0:42:11	保守的な評価としてお示しているものでございます。
0:42:15	⑤で、湧水ピット天板までます水位上昇。
0:42:20	しますということで
0:42:23	こうなった場合どうなるのかっていうところでちょっと内部溢水の話も関 係しますけれども、こうなった場合には、
0:42:29	コミュニティを記載しておりまして、
0:42:32	水、
0:42:35	北檜山であって、上に漏れてこないようにですね、自主的な対応として、 Hatch部ですとか、あと開口に関しては止水対策を施してございます。 なので、
0:42:48	残念ながら残念ではないですけども水、
0:42:51	は建屋の方に回り込んで、
0:42:55	流入してきて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:57	栄養圧力が緩和されるかとかそういうことにはならなくて、ここはずっとこう、
0:43:03	密閉された状態で、周辺の水位が上がっていくと、そういうことになると考えております。
0:43:09	ただ、内部営業側では、そういう状態を許容しているかという、米水準は別に建屋に水が入ってこなければというところもあるんでございますけれども、
0:43:20	そうではなくて、地下水排水設備はあるもののSs機能維持と、それから非常用電源に接続する対策っていうのは、
0:43:29	今時点で実施しておりますので、
0:43:31	こちらによって、
0:43:33	①のですね、排水機能喪失ということにならないように対策をとった上で、
0:43:40	水防の観点で問題がないというふうに評価しているのが現状でございます。
0:43:46	33 位の下ですけれども、まとめとして、書いてまして数時間我々数時間で設計地下水まで、常総市表彰して、
0:43:57	建屋の設計の前提条件を逸脱する可能性がございます。
0:44:02	この規格の話でしたので、先行プラントどうですかということで、前回、ヒアリングを少しいただいてまして、我々も再確認してまして、
0:44:13	短いところだと、大体 24 時間程度で、
0:44:16	設計地下水に至って、同じように、
0:44:20	前提条件を逸脱する可能性が示されていることを感じてございます。
0:44:27	最後です。34 ページをお願いいたします。
0:44:32	2.1 項と、あと、香港の各自確認を踏まえて、泊 3 号の地下水排水設備の設計で考慮する前提条件を、
0:44:42	ヤマネでお示しております。
0:44:46	まず、
0:44:51	2. 以降で、地下水に期待しなさい、地下水の設定に期待するのは、使用建屋だけということを示しました。そこを改めて、
0:45:02	記載しております。原子炉建屋等の紙を建屋に限り、
0:45:07	建屋の全社に地下水を保持する機能を期待します。
0:45:12	変更で後半というお話もいたしましたけれどもそことも違いますと。
0:45:18	でございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:19	それから二つ目の矢羽根、規則の三条の第 2 項及び第 4 条、あと規制側の 38 条第 2 号と 39 条への適合に当たり、
0:45:30	原子炉建屋等の設計の所、前提条件となる地下水位を保持するために必要であるということで、
0:45:38	設計基準対象施設、Cクラス、精通金 1 というふうには、
0:45:46	3 条 2 項、38 条第 2 項の話につきましては、
0:45:51	我々、前回少しお話あった通り、
0:45:58	基本モデル、建屋の耐震評価モデルとしては関係ないという位置付けなのかなというふうには、という思いもありつつ、
0:46:07	関連する条項として評価を、確認をちゃんとしますという意味では無関係ではないのかな。その辺りもちよっと
0:46:18	考えまして、今、記載させていただきますただ、
0:46:21	3 条 2 項の話を記載する。
0:46:23	場合には、こちらの会議体での審査ではないというような話もあったと思いますので、ちよっとその辺りの配慮についてはまた少し不足してる部分は修正していきたいなど。
0:46:35	いうふうには考えております。
0:46:37	それから、三つ目のヤマネでございます。地下水排水設備は、重大事故等に対処するための機能を有しない、重大事故等対策的な位置付け、
0:46:46	この辺りの記載が、島根 2 号炉の
0:46:50	記載も参考にしながら記載いたしました。
0:46:53	それから最後、地下水排水設備の排水能力、三上からもありましたけれども、
0:46:59	予測解析からゆ流量と、我々が今有している。
0:47:03	湧水ピットポンプの排水能力、600 立米の/day。
0:47:08	これが 2 台ございますけれども、これを比較した上で妥当なものなのかというのを、今後確認して定めるということを記載しました。
0:47:16	最後の丸です。今後は、前提条件、今ご説明したような話を考慮しつつ、
0:47:23	必要な信頼性というものを検討して結果をお示したいなというふうには、
0:47:28	です。ただこれも、地域等については、調整が必要だということは、
0:47:33	重ねて、
0:47:36	言われていることは認識しておりますので、
0:47:39	調整させていただきたいなというふうには思う次第でございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:43	ちょっと長くなりましたけれども、北海道電力からの説明は以上になります。どうぞよろしくお願いいたします。
0:47:50	はい。今日は自動文字起こしだけです。
0:47:53	中間のスキーム箇所だけお願いします。はい。規制庁城です。説明の方が、以上ということで、質疑に入りたいと思いますけれども、ちょっともうちょっと、
0:48:05	今日の会合、資料としてはタイトルは設計を地下水位の設定ということで、去年のこの資料においては、
0:48:15	設計地下水は低いところは、10メートルなんですね、まず表面代替設備とか主要建屋等を除く。
0:48:25	あと手すりとかに関しましても、10メートルについては地表面、それから上の、しゃべるとかにかかわらないものは、
0:48:36	SE部か。
0:48:37	一応そういうふうの設定されるっていうふうな説明で、
0:48:41	花本ですね。
0:48:42	この辺、何か説明のロジックが結構しっかり立てられてきてる感じがあって、またちょっと幾つか事実確認だとかですね、ちょっとまだ今後させていただき、これこれからささせていただきますけども、
0:48:54	ただちょっとスルーもですね
0:48:56	地下水排水設備の設計の前提条件だけど1ポツに書かれているもの。
0:49:02	あと2ポツにかかる、こちら辺がちょっと何かいまいまだ、
0:49:07	ですかね。ちょっとあの、なぜ熊田ふらついてるところがあるのでこの辺について、まず、先にちょっと事実確認をさせていただきたいと思います。
0:49:20	規制庁内藤です。今、藤原から聞いた通りなんですけども、ちょっとこの2、
0:49:26	の前提条件。
0:49:29	これをちょっと、
0:49:34	微妙な感じがあってですね、今回開放させる。
0:49:37	方で説明したいという話になってるのは、
0:49:43	地下数字の設定方針ということだと。
0:49:48	考えています。
0:49:50	2.2でお話しされてるのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:55	今後説明する地下水排水設備の設計方針の議論の前提となるような、事実関係とかそういったところを整理したものと理解してるんですけども。
0:50:07	まず、これは合ってますか。
0:50:13	北海道電力の藤でございます。
0:50:15	今、伊藤さんおっしゃっていただいた通りの理解で結構です。
0:50:20	わかりました。ちょっとそうします。規制庁の尾藤です。そうしますと、まず記載だけなんですけども、5 ページ目。
0:50:34	のところかというと、今設定、地下水の設定方針の方に、今、
0:50:41	排水設備の設計に関わる前提条件がちょっとグルーピングされてるんですけども、どっちかというと、
0:50:47	瀬下の排水設備の設計方針の方に何かグルーピングされるのが自然なのかなと。
0:50:55	思うんですけども、
0:50:56	ここはいかがですか。
0:50:59	うん。
0:51:00	ご指摘の通り、北海道の伊藤でございます。ご指摘の通りかなというふうに
0:51:05	思います。我々ここに記載していた思いといたしましては、
0:51:10	設計地下水の設定方針の中に、
0:51:14	建屋、使用建屋については地下水発設備、
0:51:17	期待してとか、そういう、
0:51:19	ご説明が何回か出てきますので、
0:51:22	そこに紐づけて、
0:51:24	後段の設計、設備側の設計方針に繋がる場所としてこちらにちょっと書いてましたけれども、
0:51:31	分けとして、
0:51:33	黒字の
0:51:35	判断は、太字で書いてあるのどちらが適切ですかという話でございますと、おっしゃる通りで、下にある方がより適切なのかなというふうに思います。
0:51:44	以上です。
0:51:47	はい規制庁伊藤です。
0:51:48	そうしますと、今回の
0:51:52	会合資料としては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:51:56	何ですかね議論したイメージというよりかはあくまで、次回つなげる参考的なものと考えればよろしいんですか。
0:52:06	H北海道の伊藤でございます。次回へつなげるところ。
0:52:11	というのは、ご認識の通りで、我々も同じ理解しております。
0:52:16	参考的なところというところにつきましては、
0:52:19	いずれもちょっとこちらの、
0:52:23	路線のアンダーバーに見られたとしても、
0:52:26	うん。
0:52:28	参考と言え、大事な
0:52:30	御説明。
0:52:31	差上げたり主要な部分であるところということはありませんけれども、今回、
0:52:36	説明に関しては、
0:52:38	議会に続く参考的な位置付けであるとそういう言い方もできるのかなというふうに思います。
0:52:45	以上です。
0:52:47	はい。規制庁井戸です。
0:52:49	そうしますと今、この資料の構成上だとこの大きく二つの表現とについて、
0:52:58	議論をしたいというような形に見えるんですけども、どちらかという、
0:53:03	地下水の設定方針がメインで、2.2 は次回につなげるってというような形で、何ですかね位置付けはちょっと違うってということでよろしいんですよね。
0:53:15	北海道、はい。結構です。
0:53:19	そうしましたら今の資料上だとそれがあまりちょっと見えないので、何ですかね旨が何かわかるような、
0:53:26	形にしてもらってもよろしいですか。
0:53:32	北海道の伊藤でございます。
0:53:36	想定しました。
0:53:38	起こして、ご主人の推進。わかりました。
0:53:42	いたします。
0:53:45	はい。
0:53:47	私からは、この件については以上です。
0:53:58	ロッピーチーズじゃない、ちょっとーに関連して脱走っていう私は前提条件ってというのは

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:07	何ですかね、34 ページをちょっと開いてもらって、
0:54:12	ください。34 ページで、
0:54:15	ここの、
0:54:17	結局この前提条件というタイトルの結果で出てきた、とはキクチとか
0:54:23	わかってないと思うんですねで、
0:54:26	今のような話だと、何か私がちょっと前提条件というふうに、
0:54:32	限り、あと説明聞く理由例えば一つ目の矢羽根の、
0:54:35	使用の建屋に限定して、
0:54:40	使います後、その低迷に基礎近づい設定します。
0:54:45	というのが一つで、二つ目が、
0:54:48	ちょっとすごい違和感ですね。
0:54:49	突然何か条文適合、こんな説明何回まであったっけっていうのが、ポンプ出てきて、その時の文章と原子炉だけと前提となる。
0:54:59	本日、これは前の文章日へと引き継いだわけですね。で、
0:55:03	ことからって三行目があって、そのあと、これまたポート使うによって地下水排水量、
0:55:09	Cクラスと位置付け、これもすごい唐突感があって
0:55:13	単なるロジックがねこの前提条件に一体何を、
0:55:18	何としてるのかっていうのがすごくちょっとわかりませんでしたので、
0:55:22	私がちょっと申し上げたいのは、ここの、
0:55:25	文章を作るにあたってこの、
0:55:27	だったら、ロジックがきちんと説明しなければ、
0:55:30	ないです。
0:55:33	ていうのをちゃんとご認識された方がいいじゃないか。
0:55:37	突然 32 校とか出てきた。
0:55:39	これ事実、一応、議論を、じゃあ、これからやるのかそれとも、
0:55:45	今回の会合でやるのかという時系列もちょっとよくわからないんですね。
0:55:50	ですのでちょっとまた北電さんが資料作る時に一番ちょっと弱いこのいった説明ロジックの、
0:55:55	作り方は、きちっと留意いただきたいんです次と三つ目の矢羽根これも何か、従来実行たいし、対象施設に位置付けないナカシマの文章持ってきましたという話なんすけどやっぱり、
0:56:07	ロジックがやっぱわからないんですね、多分。
0:56:10	次回以降で多分それは整理されるものだと思うんですけども、
0:56:14	まずあの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:16	何ですかね、この資料で言うべきことは、全厚の2ポツ1項の旅客内に、で言われた事実をきちっと踏まえてまとめたものがここに入ってくる。
0:56:27	もしそういうふうな理解をします。この四つの3コガと多分話が出てるんですけど、
0:56:32	四つの矢羽根、ソース必要な対応を定めていったり、
0:56:36	これ結局まとめっていうところがあってですね。うん。今後何をするのか、何か、
0:56:43	んでしようけど、これ、何か今までの話から見定めるっていうしか見えなくてですね。
0:56:49	すごい。
0:56:52	そうですね。はい。
0:56:54	ここちょっと今、
0:56:56	今度いうことで、
0:56:59	今回説明があったこと、こちらきちっと切り分けてまとめていただきたいと思います。この点いかがですか。
0:57:08	はい。北海道の通り、
0:57:11	ご指摘ありがとうございます。
0:57:18	(1)(2)で、
0:57:21	記載させてもらっていることを、まとめて書くのが、
0:57:26	まず必要。
0:57:27	それ以降、我々が今変えて、
0:57:31	うん。
0:57:32	今後の話であったり、高級に唐突に、
0:57:37	はい。
0:57:38	そういう
0:57:40	伊藤さんの
0:57:42	ご指摘と合わせて、
0:57:44	我々ここに伝えて、
0:57:47	べき事項というのを改めて整理。
0:57:51	もう変えた理由を、
0:57:52	ご説明できる。
0:57:54	必要に応じて、資料に反映して、またお示したいと。
0:57:58	はい。通常です。わかりました。もしかしたら2ポツには、このベーシックとタイトルの書き方自体はもしかしたら若干、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:06	考えてもいいのかもしれないですね。
0:58:09	承知しました。井藤です。承知しました。ありがとうございます。
0:58:13	はい。
0:58:15	次にちょっと今この 34 ページ話出たついでなんですけども、
0:58:19	一応、第三条第 1 項中、
0:58:22	については今後あれですかねと。
0:58:27	うん。
0:58:28	いや我々ずっとなかなかこう、
0:58:30	更新審査っていうのが
0:58:33	別のところで審査をいただいた後に、多分、これに関して多分今後出てくるかとは思うんですね。ただちょっときちっと
0:58:40	何ですかね、審査が非効率にならないようにと、どう北電が考えるか、こういう重々検討された方が良いでしょう今後、
0:58:51	話だと、今回は別ですね、向こうで。
0:58:55	はい。伊藤でございます。今、藤原さん、
0:58:59	ご発言あった内容についても、前回ヒアリングからの継続して、
0:59:05	ご指摘というふうに考えておりました、
0:59:10	対応については、前日とか、改めまして社内の方で確認して、ご提示
0:59:20	規制庁、その他、
0:59:23	この件に関しまして、
0:59:26	ちょっと記載関係はちょっと先ほどのこの 2 ポツに関する記載だけちょっと、
0:59:34	うん。ちょっとミウラさせていただきます。9 ページをちょっと開いて、
0:59:41	9 ページ G とですね、ここの二つ目の丸のですね、
0:59:48	ごめんなさい。一つ目の丸で
0:59:50	2 行目、これに伴うよう圧力の上昇とあと液状化による動圧等の変化というキーワードがあります。
0:59:59	で、多分このキーワードっていうのはその下の方にも引き継がれていくもんだらうと私は思っていたところ、二つ目の丸の一つの矢羽根の、
1:00:08	2 行目。
1:00:09	要は鶴区の影響、何か上昇が影響に変わってあと液状化の影響がね、すごい何か液状化による動圧等の変化って言うたんじゃないっていうようは、要は微妙に変わっていつてますんで、
1:00:22	その一つ下の矢羽根にいくと、
1:00:24	今度はこれが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:26	三行、2行目かよう言うとは一番見直すよう圧力が作用した場合、
1:00:32	何かよう圧力影響とか腰痛く上昇となってまた変わってきた。
1:00:36	あとその次、
1:00:38	その半分ですね、液状化及び
1:00:41	液状化と揺すり込み沈下等の周辺地盤の変状。
1:00:45	これって何かさっきの液状化の影響だ、議事課にイド圧とかと何が違うの。
1:00:50	要は用語が統一されていないので、
1:00:53	多分す。何ですかね、規則の条文に合わせたいんだろうという、意図はわかりますものの、ただ、今回の場合その条文のことまで言われてないんだったら、値例えば
1:01:06	もう一番てっぺんにかかる圧力上昇や、或いは液状化によるダストの学校にちょっと統一させて、
1:01:12	今回言いたいのは、容圧力、
1:01:15	と液状化による圧等の変化、これが施設に作用する地下水なんで、影響するものです。
1:01:22	多分これが言いたいことだと思うんですよね。
1:01:25	そういうことをきちっと変えて次回以降につなげられるような
1:01:30	対応した方が、
1:01:32	もっとよりわかりやすいと思うんですが、
1:01:34	本当に、
1:01:38	北海道電力の河村です。ご指摘の趣旨、わかりました。確かに要望、表現が統一されてなくて違和感がありますので、こちらの方は、
1:01:49	しっかり考えて、用語を統一するなり表現統一して修正したいと思っております以上です。
1:01:55	規制庁の江寄で統一感取るのと、差別化を図ると、別の話なんで、
1:02:01	多分一つ目と二つ目っていうのは液状化の話をされるかしないといけない。
1:02:06	わかりますか。
1:02:08	すいませんちょっと理解があって、
1:02:11	だから最初の話からちょっと引っかかるんだけど、
1:02:14	基本的に言うと、
1:02:16	今日のところは、
1:02:19	地下水位低下設備、
1:02:20	含まれてるんで、当然、水位を下がってるので、要は圧力は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:27	うん。
1:02:28	です。
1:02:29	当然その、
1:02:30	増設する地盤
1:02:33	側面の地盤の液状化は、
1:02:35	液状化するしないというような地下水が下がって、
1:02:38	それで、
1:02:39	基本的には、
1:02:41	液状化を考慮した側圧はどうされたと考えています。
1:02:46	こういった考え方と、下の方はそうではなくて、広く、
1:02:50	広範囲に液状化の影響を加えるようなことで地下水位を低下させずに、
1:02:56	期待してますから、能率っていうんですね。
1:03:00	そのこの区別かをはっきりさせないと、
1:03:03	そう。
1:03:04	耐震クラスだとか、安全機能とかその信頼性とかいう話になると変わってきちゃうので、
1:03:10	基本的に、
1:03:13	どっちかどうかわからないんですが、5番、
1:03:17	例えば6ページは、
1:03:19	これわあ、あくまでもこれ、右の方のBWがあるので、柏崎じゃないし、シミズまでもない。
1:03:26	小野田なんですよ。
1:03:28	はい。
1:03:29	では何が。
1:03:31	和田と宗今言った李サイドが違うかっていうと、
1:03:35	施工範囲を施設に対しての、
1:03:39	地下水位低下、軽減を期待。
1:03:42	しているって片方はしていないで、
1:03:45	右の方は
1:03:47	低下させることによって、その効果は何期待してるかっていうと、広範囲の、例えば録画重要構造物とか、
1:03:55	そうしたものに対して、液状化の
1:03:59	影響軽減をしているっていう話なんですよ。
1:04:03	で、私が言いたいのは、例えば、先ほど来の、
1:04:08	7ページも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:09	去ることながら、先ほどのページもですね、基本的に言うと、
1:04:15	浅井の違い、鉄の駅ちゃうか利益が、議長か。
1:04:21	軽減とか、影響っていうのは、非常に広い範囲で使われているので、明確化して話をしないと、具体的な話には繋がらないので、こちらが言ってるのは、
1:04:31	より具体的に書いていただいて、
1:04:35	このBWRでという、
1:04:37	ただ、サイドと、
1:04:40	明らかに違うかっていうことは識別できるようにしないとイケないとは思ってます。
1:04:45	ずっと前、差別化を図ろうと書かれていて、基本的には柏崎とか、島根芝が新設しますけど、
1:04:53	考え方は一緒ですよ、基本的には。
1:04:56	地下水位低下設備がある。
1:04:59	直上のものしか期待しないという、
1:05:01	監査役なんでそれが全額決まるように変えていただく必要がある。
1:05:07	よろしいでしょうか。
1:05:09	北海道電力の河村です。地下水排水設備の機能に期待して、液状化影響を低減まで考えてるかどうか、広い範囲まで考えてるのかわかっていうところなんですけども。
1:05:20	一つ目の矢羽根で、地下水排水設備の機能に期待しという言葉と、二つ目の矢羽根で、すいません9ページのところの二つ目のマルの話をしております。
1:05:31	二つ目のマルで9ページの二つ目の丸の一つ目の矢羽根では、地下水排水設備の機能に期待し、と書いておまして、二つ目の矢羽根で、地下水排水、それ以外の施設については、地下水排水設備の機能に期待せずと。
1:05:44	いったところでご指摘の趣旨を表現してるつもりではありましたが、これだとちょっと言葉足らずだという理解です。一つ目がやめるべきですけどヤマネのところ曖昧。
1:05:55	だから、基本的に言うんであれば現象建屋の所、取り合いについては、簡単に言うと、要は圧力の小上昇を排除するってことですよ。はい。相当に
1:06:08	外壁にウエキか液状化を考慮した。
1:06:12	数は変わらない。するってそういうことですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:15	それではっきり書いた方がいいっていう話を言ってるのがあります。だから一番大事な一つ目。
1:06:21	あ、北海道電力の高橋です。ちょっと言葉、ちょっとまた書き直しますが、要は水の影響を受けないような施設が原子炉建屋等ですということをはっきりわからせてそれが陽圧力であり、液状化であり側圧であると。
1:06:37	ということがはっきりそこと、地下水位低下する全体で考慮する範囲を切り分けると、そういうことをはっきり記載するというので、水の提供っていうとちょっと、
1:06:47	ご迷惑と、内郭防護のところの地下作業の時の地下水のっていうのを総合的に書いてあるところありますよね。はい。地下水低下設備が仮に動かなかったとしても、
1:06:57	地方がね、あたしの中に入らないように、流入しないように処置をするとか、そこと話がかぶっちゃうかもしれない
1:07:06	そこははっきりして、この条文と、
1:07:08	使い分けがはっきりわかるようにしていただいておりますその上で、地下水が、この主要建屋には影響しないということがわかるように、記載します。はい、ありがとうございます。
1:07:24	説明だけでちょっと細かい話なんで気づく事項なんですけど、
1:07:27	例えばね、この7ページ以降から、
1:07:30	両括弧3の一つ目二つ目という。
1:07:34	P10 円場って出てくるんだけど、
1:07:36	施設の
1:07:38	院長聞いた方、P14 番に、
1:07:42	てのはどこなのかっていうのが、
1:07:45	明示されてないんじゃないかなと思っていて、
1:07:48	多分この最初に出てくるから最初のところですね。
1:07:51	少なくともそのPTC円盤がどの辺りなのかっていうのをですね、
1:07:55	書いていただいて、例えば4ページの平面図とかです。
1:07:59	いただければ、3ページ。
1:08:02	1-1とか、ちょっと明示していただいた方が、
1:08:05	より親切の説明になるんじゃないかなと思います。
1:08:10	はい。北海道電力の河村です。ご指摘のD10 円盤っていう9010 円盤エリアという言葉を使ってるんですが、ご指摘の通り最初に出てくるのであれば最初にその位置を明示するべき。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:08:22	ではありました。一応ですねし今の資料の中では、22 ページの方で、ちょっと最後の方になってしまうんですけども、T純売エリアがここですよということで凡例でピンクのハッチングを示してるエリアが、
1:08:36	P10 円盤エリアですというところを示してございました。ただご指摘の通り最初に出てくるのであれば、最初に、位置関係を明示すべきということだと思いますので、その点、修正したいと思います。以上です。
1:08:49	はい、規制庁ノザキあれとねアトムもう 11 ヶ所あって、この 7 ページの、
1:08:55	2.1 の両括弧 1 で、
1:09:00	括弧内に書いてある。
1:09:03	保管場所アクセスルートに応じて、評価する。
1:09:07	斜面においては地表面とするっていうのは多分、
1:09:11	この
1:09:14	許可である 4 丁目
1:09:15	しゃあない。
1:09:16	要は主要な形。
1:09:19	重要な施設の方、周辺斜面、
1:09:23	と重なるところはそうだったと思います。それと、それは僕、何となくぴんときてわかったんだけど、
1:09:31	一発わかんない。
1:09:33	っていうのは、特にねややこしいのは、
1:09:36	両括弧 3 の学生も、
1:09:40	いわゆるTP10 万 10 円版よりも標高のところは、
1:09:45	いわゆる浸透流解析によって地下水を設定する。
1:09:49	なんでボンドのアクセスルートは、藤オカ部署、これに該当してくる可能性はあるわけですよ。
1:09:54	それが主査をされてるの、書いてあるのが多分 9 ページの、
1:09:59	下の方、③っていうところですか。
1:10:04	だから、
1:10:07	いわゆる、1 人以外に関しては、要は、捕獲保管アクセスについては書いているので、何かわからないことないけど、
1:10:16	すごい。
1:10:17	理解しにくい。
1:10:19	思いませんか、逆に言うと、
1:10:22	ブロック内に関しては、の最初の括弧以外の方がよくわからない。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:28	それと、
1:10:30	他の人は続くとか。
1:10:32	一致してる場合はというだけの話だと思うんですね。
1:10:35	だからそこってのは逆にカッコと言って混乱を招いてるような気がするんですが、
1:10:40	もし書くのであればもっと丁寧に詳しく書いたほうがわかりやすく、
1:10:45	そこはちょっとね、わかりやすかったやって、後々誤解を招く可能性があるんで、そこはしっかりと書いていただくか私に。
1:10:54	うん。誤解を招かない記載にさせていただく必要があるかと思います。いかがです。
1:10:59	はい。北海道電力の河村です。7番、のは、両括弧1のところの括弧の記載なんですけど、場所アクセスルートにおいて評価する斜面においても同様に地表面とするというところは、
1:11:11	基礎地盤、DB側で審査する基礎地盤周辺斜面と重なる是正斜面だけではなくて、すべて保管場所アクセスルートに関する斜面も同様に地表面に設定するという思いで、
1:11:25	ここに表現しております。それがちょっと伝わっていなかったかなと思っております。
1:11:33	うん。規制庁、植竹です。そういう話であれば、
1:11:36	むしろ括弧わけじゃなくて、抜き出してはっきり書いたほうがいいんだと思います。今言ったような感じで、基本的にはそれで宣言するっていう、
1:11:44	なるとしたら、
1:11:45	逆に言うと、TP10 円版より上にあるっていうのは、
1:11:51	何なんですかって言う話もちよっとあるんですけども。
1:11:55	はい。ATP順番より上にあるものとしては、アクセスルートな、例えば沈下でしたり浮き上がり評価の時のイメージをしております後、
1:12:07	10万以上で緊急時対策所等の清重大事故等対象施設もありますけども、そういったところを、に限定してるイメージで斜面に関しては、
1:12:18	保管場所アクセスルートにおいて評価する斜面も含めてすべて事業名というように、今回整理しております。
1:12:25	規制庁の江寄ですから、9ページが一番最後の業務、③、
1:12:32	そこで、特定施設並びに保管場所、
1:12:38	アクセスルートについては、3次元浸透流解析、予測解析、地下水を設定するって書いてあるんだよねだから、
1:12:45	そのアクセスルートと場所っていうのがすごく、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:48	サイショのババちよつと重なっちゃうんで、
1:12:51	出ない。
1:12:53	通常、他のサイトでは、あまり社員のメンバーで、
1:12:58	紙を設けてなくて、保管アクセスのどちらかとCという解析でやらしてください。
1:13:03	て言ってるのが多いんで、
1:13:04	おんなじ方法をとっているのかなと思いつつ、どっちがどっちの話をしているのか。
1:13:11	一方で、Sクラスの
1:13:14	周辺斜面と、34条の設置許可がありますけどそれは
1:13:19	地下水の設定が決まっていないので、見通しとしては保守的に全部、
1:13:23	社員は全部すべての書類の1方面って扱いになって、逆に言うと、個人からは、このシート解析やって決まった地下水でやってるところは大変、
1:13:34	だから、逆に言うとそれはちよつと我々としては、先入観がある。
1:13:40	それから考えると、どっちをと汲み取ったらいいのかってよくわからないんですけど。
1:13:45	これもちよつと説明いただけますか。
1:13:48	北海道電力の河村です。
1:13:52	我々としては34条の15耐震重要施設とか地盤斜面のの地表面設定。
1:14:04	にしているのと、またちよつとすみません同じこと言ってると思うんですけども、保管場所アクセスルートの清側の周辺斜面で、
1:14:12	設定する地下水もすべて地表面にするという、そこがちよつと他サイトと違うところになってるの。そうですねちよつとそこまでしっかり確認できなかったんですが、そういったことになってるかと思います。
1:14:26	そうすると丸さんの記載がいらなくなるんだけど、
1:14:32	丸さんてあのね、9ページは、丸さんが、
1:14:36	ブリットル保管アクセスと、さっき言った岡阿久津と何が違うのかっていうのはわからないわけですよ。はい。北海道電力の川村です。丸さんの言ってる保管アクセスと言ってるのが、
1:14:48	我々のイメージしてるところでいきますとアクセスルートの段差評価等で考える時のアクセスルートの基本地下水の設定。
1:14:58	については、浸透流解析で定まった、水を使いたいなというところで表現しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:06	ここでA、
1:15:08	斜面は違うんだけど、アクセスルートの段差評価で等で用いる地下水が浸透流解析から求めたものを使うということがしっかり読み取れない。
1:15:19	ふうになっているのかなと思いましたので、そこはしっかりわかるようにしたいかなと思いますけども。
1:15:25	坂のアクセスルート、
1:15:28	断層の評価自身は、10年以上は、上の方そうですね10メートル以上は、浸透流解析の結果を使ってアクセスルート段差評価を行いたいと思ってます。
1:15:40	神さん。
1:15:43	秋月10番。
1:15:45	坂。
1:15:46	のやつアクセスルート関係と、10メートル以上のいわゆる断層の評価が違ってるといのがここでちょっとすごく見づらい。
1:15:56	という。
1:15:57	ふうんかなと思ってますよね多分、どれかにあの時ウエダなくすると、どっかに一旦、
1:16:03	1個前にどっかで多分入ってるかもしれないですけど、そこをきちっとわかりにくいのであれば、するとだけきちっと何か候補を立てて、切り分けの方が
1:16:15	最近の北海道電力カワムラです大変わかりづらい記載で申し訳ありません。21ページで、そこを、
1:16:23	我々なりに表現してるというところに、2-6表ですね。
1:16:28	はい。2-6表では基礎地盤周辺斜面の一番上のほうですが周辺斜面は、
1:16:34	保管場所アクセスルートにおいて評価する斜面を含むということで地表面設定で下の方に行きまして保管場所、アクセスルート、(エ)周辺斜面除くと書いてますけども、
1:16:45	ここで保管場所アクセスルートそれぞれ14番と14番より公表方法について分けて書いてまして、順番より高標高のものは、浸水深という解析に基づき設定したいと。
1:16:57	でも、順番の保管場所アクセスルートについては地表面に設定すると、そういったところを、ここで表現してるつもりでございました。
1:17:09	社名アンテナとか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:13	それをさ、
1:17:15	はっきりわからない。
1:17:21	辻村です先ほど、21 ページですかね、この表については何か単純に保管場所アクセスルートっていうふうのに 6 の表で一番下の方書いてあるんですけど、
1:17:33	具体的にこんなの評価なのか、私は最初の時、アクセスルートの何か知恵とか、何かそこら辺やるから、設置は、
1:17:45	ちょっと思っちゃったんですけど、多分違うだろうなと。うん。多分、断層評価のことを言ってるんだろうな。でも、自由他のユリ上に何かそんな断層評価するところがあるのかどうかまだちょっと今説明ができないんでわかんないんですけど、
1:17:57	ただ一つ目の評価、何評価をするかっちゃうのはここで書いていただいた方が
1:18:01	良いのかなと思われましてそれで、さっきの江藤まよめの 9 ページのところでしたっけそこは、要はアクセスルートをカンダ所っちゃうのは、三つ目のやってますような一つは基礎地盤周辺斜面、あともう一つは、
1:18:14	この 10 メーター以上の公表後 10 メーターのところのものを、いうふうにちょっと分けたので、よりわかりやすいと思います。いかがですか。はい。北海道電力の川村です。今ご指摘いただいた通りアクセスルートにおける評価と、その分けですかね。
1:18:32	これは沈下評価での考え方です。これは社員評価での考え方ですといったところがわかるように、9 ページ、21 ページ等を修正して参りたいと思います。以上です。
1:18:48	多分、三瓶とか、
1:19:08	規制庁の話です。確認なんですけど、
1:19:12	補助建屋の設計地下水位なんですけど、例えば 28 ページに、
1:19:18	断面図があって、ちょっと数値言わないんですけど、
1:19:22	浅い数字と、深い方の数値等あって、平面的 2、
1:19:28	段差があるような、
1:19:30	構造物になってるんですけどこれはどチラー。
1:19:33	IV 設計地下水と。
1:19:39	北海道電力の高橋です。
1:19:41	こちらでも設計地下水としているということになります。あくまでも、基礎のスタバに水位がありますので、地下水用圧力は影響させないという設計方針になってございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:56	ちょっと平面的 2 個の深いところがどの程度広がってるのかがちょっと把握してないんですけれども、
1:20:03	例えば 55 ページの方に、ナンバー 8 のボーリングの観測水位って、
1:20:10	ナンバーはちいの位置が、この深いところに該当するのか浅いところに該当するのか把握できてないんですが、
1:20:19	仮に深いところだったとすると、
1:20:22	若干クリアできてないところもあるかなと思うんですがそこはどう判断できますか。
1:20:31	若干、そういう部分もあるかとは思いますが、全体的に平均的に見て、影響していないという判断をさせていただきます。
1:20:41	規制庁の大橋です。設計ではそういう扱いになってるということで理解しました。はい。相当です。
1:20:57	すいません。
1:21:01	規制庁の三浦です。ちょっと確認をさせてください。33 ページ。
1:21:08	なんですけど、先ほどちょっとご説明なられて、
1:21:11	建屋設計の前提条件を逸脱する可能性があってその時間が大体 4.5 時間だと。
1:21:18	こういう話なんですよね。
1:21:20	それ以上上がってても、湧水ピットの天板があるから、内部溢水の観点から、
1:21:26	あそこへんとそこから漏水しないことになってるっていう話が、こう記載されてんだと。
1:21:32	BWRの方は確かに 24 時間っていうのがあって、それで設計するに至るっていうことがあったけど、この 20 時間っていうのはBWRの方は、
1:21:42	この間に可搬とかを入れられるとかっていうことを、ある程度その時間と対策っていうのはついてた話なんですよ。
1:21:50	けども、今こちらの隣では 4.5 時間って数字があるけどこの時間的な意味は何も、
1:21:56	意味がないっていうふうな理解をしてよろしいんですか。
1:22:02	北海道の伊藤でございます。
1:22:05	今、先行のお話していただいた
1:22:09	代替ポンプで対応されると、その時間も目安 24 時間というのは、
1:22:15	要は我々も認識しており、
1:22:18	ちょっと今回資料の中には、明示的に書いてない。
1:22:22	ですけれども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:24	33 ページのHatch我々もございますので、
1:22:27	ここから仮設の対応というのももちろん、できると思ってます。また、
1:22:34	我々、特徴として、
1:22:37	一つその中の、すでにですね、この
1:22:40	ところの、
1:22:41	ピットの中に仮置の可搬型の水中ポンプっていうのも今すでに入っている状況でございまして、
1:22:49	翁長、すいません、江藤変更サイドで、大体ポンポコ投げ込みを行ってからやっているような対応というのは、我々はその電源を変えるだけです。
1:22:59	できるのかなと。ちょっと時間的な
1:23:02	どのぐらいの時間を要するかというところを正確にまだ評価はしてございませんけれども、
1:23:08	仮に、4.5 時間、数時間オーダーであれば、東洋の対応ができるのか、その辺りも踏まえて、
1:23:15	特に大きな差異ではないというふうに判断していきたい。
1:23:19	以上でございます。規制庁宮です。今のお話でわかりました。ただこれ、
1:23:24	下の黄色の部分で、四角で囲んだ部分、丹治湖比較するとですね、
1:23:30	すごく違和感が。
1:23:31	あるんですよ。
1:23:33	だから今おっしゃられたように、
1:23:35	4.5 時間の間に何らかの形で対策できるものを、今後検討していくってというような話がついてこないと、
1:23:43	ちょっとこの時間だけで 20 時間と 4.5 時間で比べてしまうとちょっと何を比較したいのかってのはよくわからないので、少し記載の充実をお願いしてよろしいですか。
1:23:55	北海道でございますご指摘ありがとうございます。もう少し差異がないというふうに判断した理由を、今申し上げたような話を、ここ、このスライドに書き込みいたします。
1:24:12	規制庁行っちゃうんですけど、33 ページ、ちょっとごめんなさい。
1:24:17	ここで私ちょっとは言いたいことっていうのは
1:24:21	先行プラントとかの一応中身を見てるとですね。
1:24:25	瓶しらびあっているのは重要な

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:29	機器とか設備が入っていて、原子炉建屋結構そもそも重要なものなんですよ。その耐震の評価については、
1:24:37	マキノ喪失の影響は、
1:24:39	聞いた皆さん中のちょっとなかなか見るために、こういった余裕の時間って後どう見てるものとすごく私、
1:24:46	解釈してたんですね。ほんで、だから結構 4 時間、
1:24:51	さっきのやっぱり、うん。結構早いんですよ。だったら重要ですね。
1:24:57	ていう、それぐらいは何か私松田、これを見て思って、
1:25:01	多分この現段階だと多分、
1:25:04	今回の機能喪失に至る間持続する、機能喪失した後、この建屋設計の前提条件を逸脱するというまでに、あまり時間的な余裕がないんです。
1:25:16	というところが多分んが、ここでいえることなのかなあとちょっと私ちょっと思っていました。別にこれは私が先行見ている話で、
1:25:26	北海道の伊藤でございます。ありがとうございます。藤原さんのおっしゃってるご見解も
1:25:32	しておりますので。はい。
1:25:34	皆さんのお話を含めてどのようなぐらい。
1:25:40	ありがとう。
1:25:42	規制庁ちなみにちょっとこれ、設備の話で恐縮です。33 ページの 2-19 図ですねこの赤いバッテンベースっていう書いてあるじゃないですか。ほんで、
1:25:53	これを機能喪失したときにこっから水が溢れ出すことはないですかね。ここでは、私、失当で坂代理にしちゃうって言ってますよね。
1:26:04	私記者には伴代理はどこですか。
1:26:07	これバッテン事務所等ポンプ例えばなんか、
1:26:11	なんすかね、回転スルー。
1:26:13	あるんで、あるんですねそっから、要は機能喪失したサークルってものって、要は止水弁じゃないとしたらですよ。
1:26:21	衛藤もう水が中にそのまま出てくるような気もしてですね、板野様は、
1:26:27	坂誰って一体どこなんだろうっていう、強くわからず、その辺って何か事実をちょっとまず説明いただけないんですかね。ここどうなのか。はい。
1:26:36	はい。
1:26:38	バウンダリーはTP左側に小さくてPマイナス 3.7 メートルというふうに、
1:26:45	この上のピットの上のフロアの、
1:26:47	高さが記載されてますけれども、この面で、バウンダリーをとってる。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:26:52	いうふうに、
1:26:54	ど、
1:26:54	Hatchの方から、他のどんどのような開口負債なのかっていうところ。
1:26:59	少し
1:27:01	本店メンバーにも、補足いただきたいんですけども、
1:27:05	基本的に上にすべての繋がる開口を伝える、そういう理解しておりますと、発電所の方で補足があれば、すいません。
1:27:13	本店の方で補足があればお願いいたします。
1:27:17	本店側から北海道電力村島でございます。今伊藤の方からご説明ありました通り、バウンダリを張っているところに関しましては、
1:27:27	湧水ピットポンプエリアのTP-3.7メーターのエリアで貼っております。Hatchの方に関しましては、人が出入りするようなハッチ、それ以外にもですね、
1:27:38	小さな開口部がありますので、こちらに関して止水を担保しているという状況です。
1:27:44	あと、縦型ポンプのところのベースも止水を達成しているという状況です。それから計器類ですとか、ケーブル配管みたいなものも、
1:27:58	一部貫通しているところもありますので、貫通部の止水処置を実施して、このマイナス3.7メーターでバウンダリを貼ってございます。以上です。
1:28:09	ちょっといい。どうぞ。
1:28:14	原子炉規制庁宮元です。多分ですね、ちょっと私の理解が間違っていたら言ってもらえればいいと思うんだけど、これ※2のところを書いてあるやつが、
1:28:23	多分ちゃんと説明できてないんだと。
1:28:26	溢水評価で、
1:28:27	ここに書いてあるのは、地下水排水設備では井関店機能に期待して地下水を經由したて入院させない設計としている。
1:28:36	要は地下水位低下設備が動いている前提ですよ。
1:28:40	だからさっきからの答えが、答えが全しっかり回答できてないんですよ。
1:28:45	溢水では、
1:28:46	ポンプが機能喪失してないんですよ。
1:28:49	だからポンプで陽圧で全部水をあげてるので、なので上のHatchには全然水は来ないんだけど、これ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:57	でも、まあ、念のためってことで自主的に発注の周りは申請してますよってこれこういう説明をする、ここのコミュニティでやられてるんじゃないんでしょうか。
1:29:08	久世の伊東でございます。まさに今おっしゃっていただいた通りでございます、1 成果影響評価上は、排水に期待しておりますので、
1:29:18	発注、
1:29:19	今まで被水が、
1:29:21	店が上がってくるという想定はしており、
1:29:26	あ、すみません、だから先ほどちょっと藤原からあったと思うんだけど、だからこれ、これポンプの設置するしないの話は別なんだけど、これ通常機能喪失すればグラウンドから水が漏れてくるから、
1:29:37	当然水位が上がってくれば、グラウンドの密閉的なグラウンドって、そのRFPとかその、
1:29:44	よっぽど放射線の強いところでは、メカシールがあるようなグラウンド使ってるかもしれないけど、この排水ポンプにそんなグラウンド使っていないんだから、上から下から水は上がってきますよね、普通の。
1:29:56	ゴムというか普通の、
1:29:59	リングを使ってるだけだと思うんですけど、そういう認識じゃないですか。
1:30:04	北海道の井藤でございます。
1:30:08	このグラウンド部も含めて、姿勢をとっているんじゃないかというふうに理解しておりましたけども、まずすみません詳細設備詳細分かっておらず、もし本店の方で何かわかることがあれば、お願いしたいと思えます。
1:30:23	本店から北海道電力村島でございます。今宮本さんをご指摘いただいた通り、ポンプに関するグラウンド部の無漏えいっていうものではございませんのでそこにはある一定の、
1:30:36	漏えいが可能性としてはあるんじゃないかなと思っています。以上です。
1:30:46	多分私、
1:30:52	あ、はいわかりましたそれですね、ちょっと私ちょっと、
1:30:55	理解してなくて申し上げた2点に、この27ページ以降っていうのは今回の会合でどこまでつけるんでしたっけ。
1:31:04	はい。伊藤でございます。北海道の井藤でございます。
1:31:09	先ほど、コメントいただく前までは、この

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:12	27 ページ以降 34 ページまで、
1:31:15	何らかの形で、政府つけたいというふうに思っておりましたけれど、
1:31:21	立て付けを全体的に見直す必要があるというふうに今認識しておりますので、
1:31:25	そこはまた今、どこまでというふうにご回答なかなかできない。
1:31:30	我々として、
1:31:35	あ、わかりました。それと、ちょっと 28 ページでちょっと教えてもらいたいですけど、
1:31:41	泊の場合は、遊水ポンプ、ゴムがしっかり優先項目でこれね、地下水排水設備かな。
1:31:49	このポンプっていうのは、
1:31:52	今回の新規性基準前から 2 台あったと。
1:31:58	フクハラのイトウでございます。はい。ご理解、
1:32:01	わかりました。それで、
1:32:04	ちょっと先ほど三野からお話あったけど 33 ページのちょっと考え方が、多分、
1:32:10	若干、少し、もう少し整理された方がいいかな。今回これ、会合を出すか出さないか別ですけど、
1:32:17	まず、
1:32:19	これ、一番初めに機能喪失二つっていうのが、
1:32:24	ちょっと違和感があって、それでこれ、
1:32:26	多重化って言い方よくないのかもしれないんですけど、よく二つついてるよっていうことで、通常 1 台が 100%っていう認識でいいですか。
1:32:37	金戸です。1 台 100%でございます。
1:32:41	なので 1 台 100%でもう 1 台の予備だっていう考え方であれば、通常何らかの理由があって 1 台が喪失した場合はもう 1 台の予備を起動させると。
1:32:52	というのがまず前提であるはずなので、それが多分その、
1:32:56	遂行警報、
1:32:58	出た時点で、
1:33:00	片方のポンプを起動させるっていう手順になるんじゃないんですか。
1:33:05	通常、北海道のイトウでございます。ご指摘の通りで、通常の流れとしてはそのようになろうかと。
1:33:13	うん。ですね。だからその辺はやっぱちょっと丁寧に書いておかなきゃいけないなと思っていていきなり 2 台喪失っていう考え方よりは、電源が

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	上でいきなりなくなるとは別ですけど、通常 1 台起動 1 台 100%で 100%×2 台がマツイてますよっていう前提があって、
1:33:30	通常 1 台通常運転されていて遂行かなんかで何らかの理由で 1 台のポンプの故障が発生してもう 1 台を動かしますよ。
1:33:42	それによって整備は下げますよってというのが多分前提で、さらに厳しい条件の中でもう 1 台が駄目になった場合に、初めてその水位が高くなるかもしれない。
1:33:54	で、水位が高くなるんだけど、通常水位が、
1:33:58	通常水位がこれでいうと、どこに維持してるんでしょう。
1:34:05	奥井の伊藤でございます通常水位はですね、ちょっとスライドが変わってしまいますけれど、
1:34:16	29 ページお願いしたいんです。
1:34:20	29 ページの選定ポンプ起動レベルっていうのがTP-4008 号。
1:34:26	ここで起動すれば、増井さんありますので、
1:34:29	マイナス 5.35 の、
1:34:31	ページ 2-5.35 の本部停止レベルで、ポンプアップでそこからまた、
1:34:36	スタッフが、継続的に入ってきて、
1:34:39	ポンプ起動レベルまで上がればまた、
1:34:42	その分、
1:34:44	繰り返し、
1:34:48	ということは、
1:34:50	通常ポンプの異常が確認されるのっていうのは 4.75 まで、
1:34:56	4.75 の高警報
1:34:58	それとも剪定ポンプ起動レベルっていうのが、どちらに今判断されようとしてるんでしょう。
1:35:04	はい。イトウで北海道の伊藤でございます
1:35:07	選定ポンプの起動レベルでは、起動したことを運転員が注意深く見ていればわかるかもしれませんが、警報が出ませんので、
1:35:15	検知として、使おうと思ってるのは、
1:35:18	さらに上がって、剪定ポンプが動かなかった、ごめんなさい、予備ポンプが動かなかったもしくは動いてるんだけどもっと上がり続ける。
1:35:28	そういうのは、TPのマイナス 4.75 で先ほどの選定ポンプが起動するTP マイナス 4.85 より 0.1 メートル高い。
1:35:38	ところで、傾向が出ますのでこちらを
1:35:41	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:44	はい。で 33 ページに戻って今言われた 4.75 から、
1:35:51	4.75 で警報レベルなんだけどそれでそれ以上水が増えてきた場合って いうのが、
1:35:57	要は、集水管の
1:36:00	上に行っていくってことね、水が。
1:36:03	そういうことですよ。
1:36:05	はい。北電の磯野鳥飼通り、
1:36:07	その上で、4.75 でそこから、
1:36:11	この 4.5 時間というのは、
1:36:14	どこまでを 4.5 時間つってます。
1:36:19	エレベーションで表現しますと、
1:36:23	えっとですね、TP-4.75 メートルから、
1:36:27	集水管の配管の上端の高さで、ですので、
1:36:32	これはだから、あれですけど、マイナス。
1:36:35	A、B マイナス 4 点。
1:36:38	5 号として、
1:36:40	記載させていただいてますけど、ここまをを考えて、
1:36:43	そこから、
1:36:45	実際の原子炉補助建屋の基礎の下端レベルの TP-4.2 メートルまでは まだ、
1:36:53	距離というか高さがあるんですけども、
1:36:56	あそこに、田丸、水野、地下水、
1:37:00	400、
1:37:04	無視して、
1:37:06	砂利のところとか、
1:37:08	ある程度たまる。
1:37:09	ババ的なものはあると思うんですけども、
1:37:12	そういう
1:37:13	許可できないものは無視して、
1:37:16	給水管の溶接、
1:37:17	ちょっとスズキの、
1:37:19	湧水ピットの容積、
1:37:21	高さを 4.5 メートル。
1:37:24	本高さで計算したものが、
1:37:27	※1 で記載しているので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:30	どう、
1:37:31	ちょっと拡大 28 ページを見たときに、
1:37:35	今言われてる 4.55、要はその
1:37:38	言ってる原子炉補助建屋の下面のさらに下ですよ。
1:37:43	イトウで、北海道でその通りで、
1:37:50	北海道のイドでございます。28 ページで申し上げますと、
1:37:54	湧水ピットの
1:37:56	量細分、
1:37:57	緑の集水管をお示してございますけれども、
1:38:01	この緑の線ですけれども、ジョウタン
1:38:04	の高さが 4.55 ということで、ここまでのその貯槽、貯水量というのはある程度定量的に、
1:38:10	ができるものと考えまして、今回時間の算出に、
1:38:14	でございます。
1:38:15	で、ちょっと私聞きたかったのは 6 ページに行くと、
1:38:20	設計用地下水の、
1:38:23	青線、
1:38:26	その 1 じゃないところにあって、多分 28 ページで言うと TP-0 あたりに設計を地下水が来てるんだけど、
1:38:36	これはちょっとさっきの話と矛盾するような気がするんですけどどちらが正しいんでしょう。
1:38:44	はい。北電の伊藤でございます。
1:38:46	少し設計地下水の記載のレベルについて、
1:38:52	再考すべきかなと今思いました。ただ、
1:38:56	私が仰っ申し上げた集水管の上端レベルっていうのが下の方の
1:39:02	青い
1:39:03	太線になっている
1:39:05	集水管とかサブドレン荒尾を表してる線の上なんじゃない、その直上に、
1:39:12	この
1:39:16	青の破線があるべきなんじゃないかと、そういうご指摘なんだというふうにいたしましたけれども、そういう意味ではなくて、
1:39:24	修正管理上は別に気にしてるわけじゃないんですよ。私は、
1:39:28	設計用地下水の水位の 1 を切ってるんで、それが今、言っている、4.55 なのか、テープ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:38	0なのか0.3なのか、どっちなんですかっていうのを教えていただければ。
1:39:44	北米のイトウです。ありがとうございます。
1:39:46	地下水は集水管のレベルまで確実に下がっていくと。
1:39:51	いうことを前提に、建屋基礎直下である、TP-4点、このケースで言うと、平均-4.2メートルに地下水位を設定すると、それがお答えになる。
1:40:07	国で考える。
1:40:13	すいませんが先ほど大橋さんのところでもご回答させて北海道電力の高橋です。
1:40:19	建屋のいろいろ段差ができておりまして、それぞれの基礎の下にこの排水管が入っております。なのでこのそれぞれの排水管のレベルまで地下水が下がってるという前提で、
1:40:30	ちょっと言い方あれなんですけれども、設計用地下水が設計とした部屋の設計としては地下水を見ていないので、実際、設計地下水はないんですけれども、
1:40:41	まずすべて基礎版の下にいますので、要は努力をかけない建屋設計としていると。
1:40:47	というのが回答になろうかと思います。
1:41:02	えっと規制庁宮本ですけど、これ何で私が確認して、気にしてるかっていうと、
1:41:07	その33ページの説明がね。
1:41:09	うん。
1:41:10	Bと。
1:41:11	Pを比べてるんだけど、
1:41:14	Bは建屋の外ですと。
1:41:16	Bは建屋の中ですってなったときに、
1:41:20	一概に比較はできないなと思っていて、
1:41:23	それはなぜかっていうと、建屋の中に水が漏れていくので、
1:41:27	要はその集水管の
1:41:30	上まで別に水が来ても、設計用地下水まで行かないのであれば、建屋の中に水が漏れるだけで、
1:41:37	例えばその、
1:41:39	どれぐらい影響が出る時間がかかるのかなっていう純粋な時間がどれぐらいになるのかなっていうのが気になったんですけど、そうじゃなくても

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	う、週数間に来たらもう駄目ですっていうんだったら別にこんな議論しても仕方ないので、
1:41:54	あまり議論するつもりはなくて例えば 4.5 時間ならもう 4.5 時間で我々は見るしかないかなと思うんですけど。
1:42:03	考え方としては、
1:42:05	でもいいとか、
1:42:07	不全、
1:42:08	今
1:42:10	皆さん策定いただいた通り、
1:42:13	給水管の中に水が来た時点で、そういう状態ですけれども、その時点で、
1:42:20	設計条件に影響する可能性がある、それが我々の考え、
1:42:24	ありまして、
1:42:26	考え方としては、今、深山さんがおっしゃった、
1:42:29	タナベ、
1:42:34	あ、わかりましたそれとあと、
1:42:38	でも、結局のところを 48 ページで見れば、集水管のところまで来て、影響が出るのは原子炉補助建屋だけで、
1:42:47	原子炉建屋にはまだ時間がかかる。
1:42:49	時間をある程度余裕があるという認識でいいですか。
1:42:54	はい。北電等で、
1:42:56	その認識で、
1:42:58	また同じような考え方でいくと。
1:43:01	確実にその集水、貯水が見込めるその業績っていうのを考えれば、
1:43:07	高さが上の、
1:43:10	基礎版の高さが上の、
1:43:12	峯村フェア等については、原子炉補助建屋に比べれば、時間的に言うのは大きく、
1:43:19	カネコ、
1:43:23	あ、わかりました。ちょっと審査会合にかけるのであれば中身よく、あれですけど、書けないってかその出せるだけは今みたいにやっぱ確認しなきゃいけないんで、
1:43:34	皆さん出さなければ別に前提条件として書かれてるんであればいいんですけど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:43:39	今みたいな話をやっぱりしっかりしておかないとさっきの質問にもあったと思うんですけど、
1:43:46	要は、数時間に対して 24 時間っていう表現であれば、当然、すごく影響が高く見えるので、事業+事業者としての考え方は明確にしといた方が
1:44:01	はい、北電等でございます。承知しました。
1:44:05	私の方から、あ、すいません。はい。
1:44:11	清家です。ちょっと関連して 33 ページの※4 なんですけど、
1:44:17	2 ポツ 2 をどこまでつけるか改めて検討されるということなので、
1:44:24	あれなんですけど、一応このミナミ米の内部溢水云々の話は、
1:44:33	機能喪失Ⅱ。
1:44:37	次が、
1:44:39	上がらないように、機能喪失させないような対策として正式内示とか非常用電源接続とかっていうのを書いてあるという、そういう趣旨かなと思うんですけど。
1:44:49	一方で
1:44:52	27 ページの
1:44:54	カッコ 2 っていうのは、
1:44:57	最後に特に重要な差異であるってことで、機能喪失時の影響についてはイシイ 5 の観点も、ウメキ系列に示すという
1:45:05	ことになっていて、こっちは機能喪失時の影響。
1:45:12	記載が、
1:45:13	整合してない気がするんですけど、この定款ですか。
1:45:18	はい。北電の伊藤でございます。ありがとうございます。
1:45:22	おっしゃる通りで、この機能喪失時の影響 27 テライの方で、
1:45:27	前回ヒアリング、
1:45:30	全、全機能の喪失を一旦想定した場合にどうなるのかっていうところが、重要なんじゃないかと、ここをまず確認する。
1:45:39	いうふうに我々が
1:45:41	このように、ご指示いただいているというふうに受けとめましたので、こういう書き方をしてますけれども、
1:45:48	基本的には、
1:45:49	先ほど宮本さんがおっしゃってくれたと、まず一つが壊れますと。
1:45:54	その間に予備ポンプが頑張ります。
1:45:58	さらに、その間、
1:46:01	壊れてしまった、ポンプですとか、電源系だとかそちらを

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:05	復旧する手だてを整えております。そういう流れがついてんかというふう に、
1:46:10	お答えになっていきますでしょうか。私からは以上でございます。
1:46:18	衛藤、ちょっと確認ですけど、つまり、27 ページも、ちょっとこの表現だけ だと、
1:46:24	ちょっと紛らわしいんですけど、機能喪失させないようなイシイ方向から の対策。
1:46:29	を整理していると。
1:46:31	いうことを説明された文章っていうことよろしいですか。もしそうであれ ば、ちょっと誤解のないような記載をしていただかないと、ちょっと混乱 すると思いましたので確認です。
1:46:42	以上でございます。ありがとうございます承知しました。ここはちょっと水 とは切り離してですね、こういう
1:46:48	前提を置いたときの影響というのを考えてみましたというつもりで書いて まして。ちょっとかなり紛れがある表現なってますので、全体構成の
1:46:59	再構築とあわせて考えたいと思います。どうもありがとうございます。
1:47:06	規制庁のでちょっと私からも確認させてください。33 ページの※2 につ いては、
1:47:13	江藤、内部漏水影響評価でっていうところの記載についてはこれは 3 号の話ですか。
1:47:21	9 電のイトウでございます。3 号、泊 3 号の話でございます。規制庁で す。これ、11 ページかな。
1:47:29	間違えました。
1:47:33	13 ページなんですけれども、
1:47:38	地下水排水設備は、1 から 3 を全部解析に入れる。
1:47:43	というふうに理解していいですか。
1:47:47	北海道電力の川村です。13 ページでお示しているのはモデルの妥当 性の確認のために、今は再臨界セキのような再現をするものですので、
1:47:59	この断面での主、地下水排水設備っていうのは、敷地にあるすべての 1 から 3 までをすべて再現するために、モデル化しておりますただ予測解 析のときは、
1:48:11	ポンプの設定をする時の予測解析は設工認段階にありますけども、そ の時は 3 号炉のみの取水排水設備を機能させて解析をするという整理 でございます。以上です。
1:48:22	規制庁です。承知いたしました。すいませんちょっと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:27	理解ができなくて、今の関係で、すいませんもうちょっと確認させていただきたいんですけども、11 ページ。
1:48:33	なんですけれども、
1:48:36	江藤、今ご説明あったのが、Bの妥当性のお話だと思っていて、ここは1 から3 の、
1:48:43	ポンプ、地下水排水設備の効果を期待して、防潮で上だけあるのかな。
1:48:52	違うのか 2000 何もないのか、包丁で一切ないのか。
1:48:59	はい。地下で遮断するものはございません。基本、既存の防潮では、今現時点でサイトウないでございませうけどそこはモデル化してないのはい。
1:49:09	わかりました。
1:49:11	防潮であるけど包丁では、モデルに入れてないってことですね。理解できました。北海道電力の河村です既存の防潮でですね、は順番に乗っかっているだけの設備ですので、はい。
1:49:22	それで、地下水排水設備の効果を期待して、今妥当性の確認をして必要な姿勢と、DCの方は防潮低成長これ新しい防潮底をつけると機能ってところでこれ防潮的な設置後って書いてあると思うんですけども、
1:49:36	この予測解析っていうのは二つあって、
1:49:40	1 コガ。
1:49:41	地下水位低下設備を期待しないのがあって、もう1 回期待するのがあるって言って返してよろしいのでしょうか。
1:49:47	北海道電力の河村です。ご理解の通りでして、記者、補足いたしますと地下水排水設備の機能に期待しない解析は何のためかと申しますと、設計地下水の設定のためにやる解析です。
1:50:01	地下水排水設備の機能に、を生かした状態でやる解析というのは、ポンプ容量を設定するためにポンプに集まる湧水量を予測するための解析ということで、この二つがございます。以上です。
1:50:13	規制庁、すいません、ちょっと今のすいませんよく今のご説明わからなくて、
1:50:20	図 23 ページ。
1:50:22	いいのかな、の話なんですけれども、
1:50:27	地下水排水設備に、の効果を期待しない予測解析の、
1:50:32	水っていうのは、
1:50:34	この自然水っていうところにかかっているんですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:38	はい。北海道電力の河村ですご理解の通りです 23 ページ、2 が 2-7 表に、※1 を打っておりますが、自然水と言ってるのが、地下水排水設備の機能に期待しない場合の 3 次元浸透流快適な予測解析整備ということで、
1:50:52	欄外の※1 に記載してございます。
1:50:55	規制庁です、効果に期待する場合は、
1:50:59	建物構築物の
1:51:01	10 メーター盤エリアのやつてことです。
1:51:05	北海道電力の河村です地下水位設定する場合に、清家橋排水設備の機能に期待した解析は使いません。
1:51:13	地下水排水設備の機能をオンする場合の解析というのはあくまでポンプ容量の設定の時の、予測解析になりますちょっと予測解析が二つあるとご認識いただければよろしいかと思えます。
1:51:26	機能に期待してってか、
1:51:31	はいごめんなさいすいません今のわからなくなってしまうと地下水排水設備の機能に期待して設計を地下水を設定って書いてあるんですけども、
1:51:40	これはポンプの話で、実際の設計を地下水ってというのは、この括弧の赤書きの話って、
1:51:46	はい、北海道電力の加賀です。すいませんこの表が、確かにわかりづらい表現になってたかと思えます。地下水排水設備の機能に期待して予測解析をするということではなくて建屋のところですね、もう地下水排水設備が機能してれば、
1:52:01	さっきの地下水が建屋下になるものと、もうそういうことで、仕切りを入れてございます。
1:52:12	規制庁の郷です。すいません。理解できません設計地下水の設計方針って書いてあったので、
1:52:18	すいませんちょっと理解ができなくて、
1:52:21	地下水位低下設備の効果に期待しないで 3 次元浸透流解析を行うと、締め切ってるけれども地表のよりは下がってるってことなんです。
1:52:33	はい。はい。北海道電力の河村です。締め切ってて地表面近くまでは、10 円盤は上がってきます。ただ、山の方ですね、現場より高標高の山の方はさすがに地方目付近まで上がってきませんので、急斜面よりは下がった形解析結果になっております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:52	失礼したものです。ありがとうございます。承知いたしました。北海道電力河村です。すいません一応参考になるかと思いたすのですが、
1:53:03	資料の 20 ページで、
1:53:06	予測解析、設計地下水地下水排水設備の機能に期待しない場合の、防潮底ができた後の締め切った時の予測解析結果を示してございまして、
1:53:17	10 円盤エリアは、10 円、標高 10 からですね、20 センチ刻みで示してございすけども、ほとんど 9 メーター以上の防潮堤内はですね、
1:53:29	なってますその上の方は、ちょっと地下水のコンターの選手が示してなくて、実際の地表面の標高がないのでわかりないと思いたすけども、一応こういった解析結果になってるというところです。
1:53:48	すいませんちょっと聞き忘れてました。
1:53:51	32 ページ 33 ページさっきの話で、ちょっと確認なんですけど、
1:53:57	地下水排水設備の施設機能維持っていう範囲がちょっとよくわからなかったので、教えてください。
1:54:07	はい。北海道の伊東でございます。Ss他の現時点で、Ss機能維持を
1:54:13	対策として取り入れてる範囲。
1:54:15	ちょっと全体図示がなくて恐縮なんですけれども、まずポンプの。
1:54:20	今ここに出ている、前言あ、すいません。電動機、並びにその下の、
1:54:29	インペラーの部分。
1:54:30	また、
1:54:32	主査は、配管。
1:54:35	つきまして、
1:54:36	排水、
1:54:38	ライン 41 ぐらいの交換ですけど、こちらも
1:54:42	セキ、
1:54:43	また、
1:54:44	電源盤、
1:54:46	もうあと、
1:54:48	推計も含めてですね、これまだ今、
1:54:52	多重化されてません、多重化されてない推計等ありますけれども、日本
1:54:59	排水機能を担うために必要な範囲をすべて、
1:55:02	是正すると、そういうご理解、
1:55:06	少しちょっと私が言い方があれだった集水ピット。
1:55:13	サブドレンと集水管は入ってるんですか入ってないんですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:18	集水管とサブドレインに関しては、これまで、
1:55:23	Ss機能維持の確認をしてございませんので、ここは
1:55:28	何らかの
1:55:29	評価、
1:55:31	確認をしなければいけないというふうに加え、
1:55:35	取水ピット。
1:55:38	あとは躯体そのもので、
1:55:41	すでに、はい。対象というふうに加えて、
1:55:46	いやですわかりました。はい。
1:55:49	そこもその辺、明確に記載してください。
1:55:52	5番、ちょっと今この記載だと、
1:55:54	Ss機能維持の範囲がわからない。
1:55:57	よろしくお願いします。以上です。
1:56:00	北海道の藤でございます。承知しました各場合には、先ほどの件と合わせ、
1:56:06	1000掛ける。
1:56:12	途中始めます先ほど拡売っていうのは今回の会合の目的等に照らし合わせて、
1:56:21	今回は、設計を地下水、
1:56:26	北電に行く。
1:56:29	衛藤砂川
1:56:32	君。
1:56:33	地下水排水設備の設計に関わる全体像と、2ポツ2、あと及びそれに関わる1ポツに関しまして確認と、
1:56:40	ございます。
1:56:47	規制庁の伊藤です。ちょっと事実関係で確認させてもらいたいんですけども、
1:56:56	13
1:56:58	ページ。
1:57:04	今これモデル化範囲の説明の中でさ、図示しているものだと思うんですけども、修正カンダサブドレインが、記載されてると思います。
1:57:16	この範囲3号炉を見ると、原子炉建屋補助建屋、あと、隣にある、
1:57:25	TAXだとか、ディーゼル発電機室、その辺はわかるんですけども、
1:57:30	その他周辺の建屋にもう、
1:57:34	サブドレ集水管と、あと一部サブドレイン。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:38	なんかを讀んでるオノセ設置されてるように見えるんですけども、
1:57:44	他のこの周地下水排水設備の、
1:57:50	なんすか配置とかが書かれてるページ、例えば 28 ページとか、
1:57:54	そういったところを見ると、その辺は見えないんです。
1:57:59	隣接する建屋のところについて、
1:58:02	ここって実際どういうふうに配置されてるんですか。
1:58:10	はい。北電の藤でございます。13 ページ。
1:58:14	に書かれている範囲が、
1:58:17	すべて、
1:58:18	集水管の配置を示しているので、
1:58:22	今回
1:58:23	地下水位の設定を議論させていただいてます。使用建屋に限って、配置の情報をお示しているのが、28 ページ。
1:58:34	全体としては、
1:58:36	13 ページの下のものが、
1:58:38	うん。
1:58:39	うん。
1:58:41	はい、規制庁イトウですありがとうございます。衛藤。
1:58:44	それと少し関連してなんですけども、今、高校の資料の中で、地下水、設計地下水がこうやって設定しますっていう方針が示されてるんですけども、
1:58:56	それが適用されるのって、休憩 1、
1:59:02	いうところの、
1:59:07	この①②③に、
1:59:09	対象がこう書かれてると思うんですけど、
1:59:14	ちなみに
1:59:16	とか、例えば波及的影響とかの確認で下位クラスの施設とかも、
1:59:22	この設計を地下水を用いることが考えられると思うんですけどそこら辺でどう、どう考えられるんですけど同じような考え方で、
1:59:31	石油地下水を用いる場合は、
1:59:33	これの考え方で設定するっていう感じなんですか。
1:59:38	はい。北海道電力の川村です。やはり結果、ご回答としてはご認識の通りですこの方針に従ってその他の施設の設計地下水もこれに従って設定していきたいと思っております。具体的なところは各項目のですね説明、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:56	において、他の設計条件と合わせて、それぞれご説明していきたいかなと思っております。以上です。
2:00:03	規制庁の伊藤です。そうすると
2:00:08	この3号の主要建屋の周りに設置されている建屋、
2:00:14	多分、経営的影響とかで確認する。
2:00:17	なんですか。対象施設に何かプラスになるのかなとも思うんですけども、そ、今はその下にサブドレンとかが集水管とか入ってると思うんですけど、
2:00:28	それは江藤北井せずに、
2:00:31	自由た盤に設置されてるってことで、地表面で、
2:00:37	地下水が設定されるってことです。
2:00:44	北海道電力の高橋です。主要建屋と、Sクラス設備それからSクラスの間接支持構造物に関しましては、設計用の用圧力が、
2:00:56	増えた場合に、間接支持である基礎版に対する影響が大きいので、今この図近づい排水設備を設けるという設定にして、設定してごさい、設計方針としてごさいます。
2:01:08	波及的影響建屋に関しましては、
2:01:11	建屋の相対変位ですとか、そういった観点での評価になっていきますので、この辺りについては、セキ設計用地下水が特段影響を及ぼすものではないというふうには考えてごさいます。
2:01:25	わかりました。その際、評価上出てこないから特に設定をしないみたいなそういう考え方。
2:01:35	国会前高瀬そのように考えてごさいます。
2:01:38	規制庁伊藤です。ありがとうございます。
2:01:47	規制庁藤尾です。
2:01:52	浸透流解析モデルの妥当性とか保守性に関して
2:01:59	確認、事実確認の方にちょっと移りたいと思います。
2:02:11	規制庁の三浦です。ちょっと私から2点ほど、
2:02:15	12 ページ。
2:02:18	もう、PowerPointなんんですけど、
2:02:20	ここで、
2:02:22	上の、黄色の部分ですね、二つ目の丸で、
2:02:27	保守的に、
2:02:28	保守的な解析水位が高くなるモデルとなるように設定する方針とした。
2:02:33	記載がありますよね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:02:35	これを本当受けて、表、2-2 ですか。
2:02:40	ここに関するモデル図の概要のところ、その下位保守的な条件。
2:02:45	が記載されるべきものかなというふうに思ったんですが、
2:02:49	には、それは別に記載されてないですよ。
2:02:53	この解析条件として保守的に扱ってる部分というのをちゃんとまとめておいたほうがいいと思うんですがいかがですか。
2:03:01	例えば私の認識があるかもしれないですけど、蒸発散を考慮してないんだとか、あと敷地のアスファルト等は見えてないんだとか、
2:03:11	それから幾つかこう、多分、解析条件として保守的になるように見積もられてるものがあると思いますので、それはこの文章からも表 2-2 の中にちゃんと入れとく。
2:03:23	べきものかなと思うんですがいかがですか。
2:03:29	北海道電力の三上です。拝承いたしました。
2:03:35	北海道電力の河村です。
2:03:38	表 2 の、
2:03:39	2-2 の表なんですけども、こちら示してるのがモデル化範囲等ということでタイトルとした解析モデルの概要ということなのでご指摘の通り、保守的として見込んでる条件と書くべき。
2:03:52	ところかなと思いますけど今のイメージではモデル化範囲等といったところを示した表として考えてましたので、ここではそこまで書いてございませんでした。保守的となる条件っていうところはそれぞれ、
2:04:06	この後段のページとかでもそれぞれ示してたりはしてましているんですがそこら辺がちゃんとわかるように記載を見直したいと思っております。以上です。はい。区長のメールです。今言ってたようにこれは解析モデルを示してんですよってことだったらまたそれはそれで、
2:04:25	ここの上の黄色の二つ目の文章を受けるような形でご指摘となっているものを、どっかにこうきちっとまとめているところ、
2:04:32	こういうことを、
2:04:35	被災上かもしれませんが、
2:04:36	お願いします。
2:04:39	北海道電力の河村です。この保守的と設定した心がちゃんと受けるところを作りたいと思います。以上です。はい。
2:04:49	結果的にそこで条件面として、多分その分水嶺でも、固定水協会、
2:04:56	地方面で固定してるとかね、そういうことも全部含めて、保守的な材料として入ってくると思うんですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:02	で、
2:05:03	ここでそういう条件を受けた浸透流解析をやって、15 ページ。
2:05:08	もう、
2:05:10	観測値と解析値の比較の部分に繋がってくんだと思うんですね。
2:05:15	で、
2:05:18	正直言ってその赤丸の部分っていうのは、10 円の部分なので、
2:05:23	これはもう、地下水位低下設備の影響そのものを受けてしまうので、
2:05:27	解析値と、あと観測値の数字のぶれ立てようがない部分。
2:05:33	なんですね。
2:05:34	おそらく、その分水嶺の固定境界とかいうことが、
2:05:38	ブルーの部分とかには出てきて、
2:05:41	この部分に関しては、保守性、解析の保守性が現れる。
2:05:46	なんですかね。
2:05:48	だから、ちょっと、その辺のところを、その解析の保守性がこの結果に繋がるっていうところも少し考えていただいて、
2:05:57	条件の保守性みたいなんですね。
2:05:59	つなげていただければいいと思うんです。今言ってたようにこの赤の部分はこれ当たり前ですよ。
2:06:05	保守的な条件をしようがしまい変わっちゃいます。これ、
2:06:09	なので、ちょっとその辺も整理をお願いします。
2:06:13	それと後、
2:06:15	私の方で気になったのが、今の 15 ページで、
2:06:19	観測首藤解析値D湧水ピットの湧水量が、これ 48.6 っていう観測値が出てますよね。
2:06:29	それぞれに対して、32 ページを見る等、
2:06:36	この表の一番左下ですか。
2:06:40	湧水量の実績最大は 200 立米/dayで、
2:06:44	書かれてますよね。
2:06:46	これと同じものを比較されてるとすると、
2:06:51	ここでの解析値、その期間の違いはあるんですけど、48.6 に対して 200 出てる。
2:06:58	4 倍ぐらい。
2:07:01	今やられてるものから見ると出てるんですね。
2:07:05	これが何でこんだけのぶれがあるのかっていうようなことは何か原因としてはおわかりになられてますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:13	はい。北電の伊藤でございます。今の
2:07:17	湧水量の会議にかかる話で、
2:07:20	その理由はわかっておりまして、
2:07:23	ちょっと 28 ページをご覧いただきたいんですけども、
2:07:32	先ほども出てきました 2-14 図で、
2:07:35	主要建屋の周り、
2:07:37	数ヶ所通過すると、周りですね。
2:07:41	注意、
2:07:42	2-14 図の右にあるような、
2:07:45	埋め戻しの部分というのがございまして、
2:07:51	幅としてはかなり狭いんですけども、その直下に、
2:07:55	集水管というのを設けるような構造となっております。ですので、
2:08:00	210 円を超えた日っていうのは、
2:08:02	非常にお体のゴールがあったり、そういう人、リンクしておりまして、雨がここから入ってくることで、
2:08:13	B、
2:08:14	そういう、
2:08:15	事実関係は、
2:08:17	規制庁の上ですからこの部分の目黒氏のところに、主に他の地域からも水が集まってきて、そこで集中的に見ちゃったっていうことなんですね。
2:08:27	いや、ちょっと私言いたいのは、
2:08:29	先ほどの 15 ページでしたっけ、12 ページから、
2:08:36	入院基準がですね、40、15 ページの 48.6 カワグチがあるじゃないですか。
2:08:43	でもおそらくこれと解析値っていうのがちょっと上回ってるんでね。
2:08:48	で、この解析をベースに、
2:08:51	ピットの容量を決めてしまうっていうんじゃ、今の 200 立米の説明がつかないと思うんですよ。
2:08:58	で、
2:09:00	最終的にはね 600 立米のポンプ 2 台入れられるってことなんで、多分問題はなと思うんですが、
2:09:07	200 立米が出たときの状況っていうのを分析していただいて最終的には、多分、
2:09:14	今の浸透流解析のものに、そういう負荷、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:17	なぜかな。
2:09:18	不確かさみたいのを考慮し、
2:09:20	っていうストーリーが、それが 600 流であんだっていうストーリーがいるんじゃないかなと思うんですよね。
2:09:27	ですから、200 立米の中にも今言われたように少し分析って今後この状態はあるかもしれない。
2:09:33	そういうことも深く、確か商品として入れて最終的にポンプ容量を設定するっていうストーリーをきちっと立ててください。
2:09:42	北海道です。承知いたしました。ちょっと我々連携して、今、
2:09:48	解析にどのような範囲が、
2:09:50	というのを検討して参りたいと思います。
2:09:52	以上です。
2:09:54	ちょっと気になったのだから投資件数これ落としたぐらいで、今の降水量でやっちゃうと、
2:09:59	こんな 200 レベルって数字が再現できないと思うんですよね。
2:10:03	ちょっとその辺も、いろいろちょっと考えていただきたい。
2:10:07	よろしくお願いします。
2:10:10	はい。北電
2:10:11	承知いたしました。
2:10:20	衛藤規制庁ミヤモトすみませんちょっと何回も同じこと聞いて申しわけないんですけど、ちょっともう 1 回 33 ページちょっと教えていただきたいんですけど。
2:10:30	ここで書かれてるのを読む限り、さっき言ったその
2:10:35	設計を地下水ってじゃあどこなのっていうのがどうしてもちょっと引っかかっている、設計用地下水っていうのは原子炉補助建屋、
2:10:43	基礎版って言っている、4-4.2 なんですか。
2:10:48	マイナス 4.2。
2:10:50	ということでもいいんですかね。
2:10:56	はい。先ほどの説明と重複しますけれども、
2:10:59	集水管の各建屋の下の基礎版下ということになります。
2:11:05	原子炉補助建屋でいう一番低いところと言えば、TP-4.2 メーターという答えになると思います。ちょっとそこが引っかかっている集水管っていうのが今 4-4.5。
2:11:18	からマイナス 4.75 になると思うんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:21	その運営ですよ、集水管の下じゃなくて集水から上をいってるんですよ、さっきしたって言ってなかった、集水管ってここで言っている、4.75から4.5が集水管ですよ。
2:11:34	設計地下水がその上で4.2ですよ、-4です。
2:11:38	ということは集水階が水没したとしても、また設計地下水までいなくて、そこから4.2まで上がって初めて設計を地下水に行くってことですよ。
2:11:49	北海道の井藤です。ご理解の通り、
2:11:51	逆に、
2:11:56	多分、
2:11:58	それとあとちょっと申し上げますと。
2:12:03	28ページでちょっと
2:12:06	具体的にさっきの話をもう1回言うと、今ここで言っている設計地下水っていうのは、
2:12:12	原子炉補助建屋はマイナス4点。
2:12:15	こっちで言ってる、TPがちょっと上がってる、PP0.3っていうところは、もうそこはもう4.2より上がっちゃ駄目だ。建屋全体だからもう4.2で統一してやっているっていう感じなんですか。
2:12:30	うん。
2:12:33	この緑の線の出願ですけども、まさにこれに沿うような形で、
2:12:38	地下水位を設定しますというのが先ほどの我々の
2:12:44	言うところは断層作る。
2:12:47	はい。そのような理解で結構です。
2:12:54	あ、北海道電力の桑村です。ちょっと私が答えていいのか微妙なところなんですけども、設計近い石油地下水を設定するという、当社の表現がおそらくわかりづらいのかなと、Cはですね、設計を地下水位は設定しないっていうのが、
2:13:11	ご理解には一番わかりやすいことになるかなとは思いますが、いかがでしょうか。
2:13:17	規制庁藤野です。まず耐震計算においては、せず地下水によるよう圧力は考慮しない。
2:13:28	どうしてもその水位を設定しないといけないということであれば、基礎下に仮に置くと。ただその数は、浸透流解析、または予圧、
2:13:39	集水管でたくさんの違いはあるけども、保守的な考え方として、衛藤されてると。だから、実態上、我々がですね、仮に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:13:49	余裕がどれくらいあるかっていうふうに、報場合においては、そういった保守的な条件を撤廃していったら、もうちょっとある程度余裕があるんですよねっていう、多分そういうことだと思う。
2:14:02	違っちゃうんすよ。すいません。
2:14:08	そうじゃない。
2:14:17	えっと、
2:14:18	次規制庁内で話を1回確認します。少々お待ちください。
2:14:23	文字起こしのちょっと空白時間。
2:14:35	でしょ。
2:14:36	同じ。
2:15:00	築山。
2:15:59	新保村瀬。
2:16:15	は、
2:16:17	はい。規制庁城です。じゃあ、ヒアリング再開します。そしたら私の方から引き続きまして、15ページをちょっと開いています。
2:16:26	そうですね。15ページ、ここがですね、
2:16:32	要は、観測値と解析値を比較して、
2:16:36	解説の方がでかいからいいでしょっていう話で、今わかってます。ただ、ちょっとそれぞれの比較に土台となるものが本当に
2:16:46	適切かっていうことだけちょっと確認させてください。事実確認です。で、
2:16:51	これ
2:16:52	ちょっと私が気にするのは降雨量の話ですね、降雨量として、まず観測値の方は、この2年表記載されてるこの2019年から2011年の6月11月の
2:17:04	期間の平均降水量を使っていると。これちょっと私が実際ちょっと見えておりませんでした。どこに書いてあるんで、一方で、解析値、この
2:17:14	中に30年平均っていうのは限って、1212.2、2年で書きますで、
2:17:21	いや、うん、大小関係皆さんわからず、要は、
2:17:24	解析値にそれたくさんの水を、今度はそのたくさんの値が出てくるのちょっと当たり前なんですけども、そもそも事実として1度観測値下地今宮野表に記載のこの、
2:17:36	この時の降水量ですかね、これって具体的に何mmパー面っていうのはちょっと、
2:17:41	教えていただけますか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:17:44	もしわからなかったらヒアリングの後にもちょっと今調べていただいて教えていただきたいと思います。一応そういうことでよろしいですか。調べてもらっていいですか。はい。北海道電力の鎌田です。
2:17:55	はい。調べます。観測値である 2019 年から 2020 年の 6 月から 11 月の期間の降雨の値ですね、こちら、
2:18:07	具体的な数字というのを調べてお答えしたいと思います。
2:18:11	わかりました。じゃ、続きまして、衛藤。
2:18:15	同じく 15 ページですね、ここちょっとモデルの妥当性と保守性のふう中身については、言いたいことは何となく
2:18:25	わかるんですねその次のページとかも、ただもうちょっと文章として、
2:18:31	こういった点から、このモデルは妥当性があるとか保守性があるっていうのをどこかにまとめていただきたいと思います。で、
2:18:37	一応、私はこの資料を見る限りにおいては、敷地の地質、地形、構造物はちゃんと実物を反映します解析モデルは、要は物性を何か物性値ですから、透水係数とか地下水通しにくいものを設定してます。
2:18:52	だから、下式メールに出るようにしてます。
2:18:55	三つ目としてはさっきちょっと私が言ったようインプットする降雨量っていうのは、ほぼ同量の量だと思うんですけど、同量だから当然その比較としては
2:19:06	大丈夫です。
2:19:08	あと最後にあるのは、妥当性検証解析で、地下水排水設備、これは昨日一応、
2:19:15	してる状態でやってる、当然水を多く出す状況なんですよ。
2:19:20	ね。だから、だからこれを解析によってさらに進んだから当然水はもう上がるので、そういったいろんな状況からかんがみて、この解析、今後やる予測解析が、
2:19:31	本年 9 月分、
2:19:33	或いは
2:19:35	爾見生活に失礼ですね。
2:19:38	保守的です。だから、
2:19:40	保守的妥当性がありますとか、
2:19:43	今言って簡潔にちょっともっと文章をこうまとめて、
2:19:48	整理をいただけるとより、
2:19:50	いいのかなと思います。コンテインいかがですかね。
2:19:53	はい。北海道電力の河村です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:19:56	今ご指摘いただいたところですけども弊社としては 15 ページのフタミル 一目のところで、一応書いてはいるんですけど余りにも簡略的で総括に なってないといったところかと思えますんで
2:20:10	二つふた丸めで、最後にここ、結果から、予測解析においても解析性が 保守的に評価されると判断したとか、保守的なモデルとなっていることを 確認したっていうふうなことを書いてはいるんですけども、
2:20:21	もうちょっといろんな、地形をちゃんとモデル化してる条件をこうして気に していると。
2:20:27	解析結果はこうなってるので、モデルは妥当性を週がわりと、さらに予 測解析においても保守的な条件で予測解析をするので、出てくるアウト プットも、保守的なさらに保守的なものになるといったところをどっかまと めの表というか、まとめのページですかね。
2:20:44	そういったものを追加すればいいのかなと思いましたそのように修正し たいと思います。はい、規制庁中ですわかりました。これ、今回の審査 会の資料だけにかかわらず北海道電力さんの資料は、
2:20:55	こういったロジック説明ロジックのまとめ方、
2:20:59	ていうのが結構足りてないところがあります内容は、多分申し分ないも のが出てきてるとは思います。申し分ないものが出てきてる傾向にはあ ると思いますが、
2:21:09	ただちょっと説明の中で勝手にきちっと今後示していただいた方がええ と思いますっていうのはちょっと申し添えておきます。
2:21:18	その他心配解析のモデルについてなんです。
2:21:23	もしなければ、記載の適正化関係だけちょっと、ちょっと時間がないんで すがさらっとしていきたいと思いますが、えっとですね、じゃあ木曾委 員、適正、
2:21:32	形で、
2:21:34	ページ、5 ページをちょっと開いて、
2:21:40	5 ページ開いたときにですね
2:21:45	左側の赤枠で囲ってルーところの二つ目のヤマネのところですね、
2:21:50	許可、例規排水、
2:21:54	設備のポンプ容量の設定のために必要なモデルの妥当性不正というふ うに書いてあって、
2:21:59	なぜこのポンプの容量っていうの設工認で決めるものであって、許可の 会議はあんまりその妥当性とかをしてたらそこまで、私はちょっと、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:22:07	踏み込まなくてもいいような気がしてってですね、あれだけこういうふうな方針で今こうやって、これ、今後やるんですっていう問題だと思うんすよね。で、どうしてもここを議論して欲しい。
2:22:18	という場合だったらちょっと話はちょっと別なんです。
2:22:21	例えばですね 46 ページ。
2:22:25	さっき言ったミウラとかも行ったんですけどあの時は透水係数って保守的にポンプのために設定されてるんですかとか、というようなところで言うと、この 46 ページの岩盤、あと 47 ページの、
2:22:36	いや私、この辺っちゃうのはもうちょっと何かやらなきゃいけないんですけども、ただちょっと内容を見る限りは、そういう話だったらないような気もしてですね、ちゃんとそこ、設工認でやるような設工認であれ、
2:22:48	許可でやるものは許可でやるっていうふうになんかちょっと切り分けた方が良くないかと思います。本当にいかがでしょうか。
2:22:57	あの北海道の伊藤でございます。承知いたしました。
2:23:01	ポンプ容量の確定というのは、設工認段階というふうなその理解で、我々もそういうのもございませんので、
2:23:08	この理解に沿った記載になる。
2:23:10	検討し、
2:23:11	以上です。はい。町長藤尾です。一応自然水道が設定するさの話もありますけど、ただあれは高標高の話だから多分そこら辺の 10 メーター盤の話はあまり。
2:23:22	大きくきかないんだろうとは思うんですこの辺ちょっと。
2:23:25	ペン等ください。あとは、37 ページの方も同様ですね 37 ページの右下のモデル化条件の膨張定数事故の一番、二つ目のポツで、
2:23:36	地盤改良については岩盤と同じ透水係数、これも要は、設工認ですので妥当性を示すだとかですね、ああいうふうなちょっとうちで考えていただきたいと思います。本当にいかがですかね。
2:23:51	はい。北海道電力の河村です。
2:23:54	ご指摘としてはその細かい条件等々については、基本的には設工認で議論するものだよといったところのご指摘だと思いますそれがわかるように、こちらの記載のほうも、
2:24:07	詳細は設工認、ご説明しますといったところを、補足で書いていきたいと思えます。以上です。
2:24:14	はい。規制庁城です。わかりました。じゃあ記載適正関係費、連続でいきます。6 ページ開いてください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:24:22	6 ページにですね、BWRの一番上の方の機能に期待する施設等において、敷地鋼板溶接工事の先ほど江崎からも話がございましたが、これは、
2:24:34	これに加えて液状化の影響、要は、ちょっと
2:24:38	違いをちょっと持つと。
2:24:39	明確にしてもいいんじゃないかという話が津崎の方からありましたので、これについても、
2:24:44	記載の検討いただければよろしいですか。
2:24:47	はい、どうぞ承知いたしました。
2:24:49	はい。では続きまして7 ページをお開きください。
2:24:53	ごめん、7 ページです。作って、
2:24:56	失礼しました。
2:24:59	11 ページお開きください。
2:25:02	11 ページについての、一番右下の両括弧銀行の観測による設計地下水の検証というものにつきまして、
2:25:12	これも規制上の
2:25:15	通常的位置付けについて、一応、これ聞くだけなんですけど、このプラン等々で
2:25:22	自主的に一応やられてるってということで、されてると思うんですけど、今回泊の方についても、これ、何らかの担保というのか、それも何か、
2:25:33	どういうふうなものを実際今、泊としてこれ考えてるのかには、わかればご説明ください。はい。北海道電力の河村です。こちらは他サイトと同様に、自主的に検証していきたいと考えている部分でございます。
2:25:46	はい、規制庁イナマスただし自主的にやると言ってもじゃあそれを条件を逸脱するようなことがあったらそれはきちんと対応はされると、そういう認識でよろしいでしょうか。
2:25:55	はい。北海道電力の河村です。ご認識の通りで結構です。はい、わかりました。では続きまして、12 ページをお開きください。
2:26:05	12 ページの方につきまして、分水0 というのが、2 の表の1 ポツで用語が書いてましてちょっと要は、
2:26:15	一部ちょっとわかりにくいかもしれないねというちょっと意見もありますので、分水率は当然地表面のだけでなく、地中の、
2:26:24	ガンマ中央部使うっていうのも対象であるというふうに、例えば35 ページ、
2:26:30	そうですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:26:31	35 ページのほうを開いていただくとこれ敷地の水文環境というのが、説明ございますので、
2:26:38	ここで地表面だけなんで。
2:26:40	これ地下の水もそうですんで溢水量社会にそういった流れが、
2:26:45	そういうことを、ちょっと明記していった方がより、間違いがないんじゃないかと思います。本当にいかがでしょうか。
2:26:54	はい。北海道電力の高野です。分水嶺に敷地の地下水の流れもそこからになってると、地表面だけの話じゃないといったところを、
2:27:04	今ご指摘いただいた 14 ページ、もしくは 35 ページでしょうかね。ちょっとそちらで記載したいと思います。以上です。はい。規制庁藤尾です。では続きまして、12 ページをお開きください。
2:27:18	12 ページ先ほどの分水嶺のところ、こちらの方ですね、構造物をモデル化し、敷地造成時における掘削、埋め戻し動を反映する。
2:27:30	これの 1 回ルーなんすか。いいかちょっとわかりにくいのがあります。
2:27:39	なんですかね。多分、実際 12 号をし、造成する。
2:27:45	或いは、3 号炉を造成する時、
2:27:48	多分そういった、
2:27:49	等造成時は、
2:27:51	歴史ですかね、利益を
2:27:54	考慮してる。
2:27:56	その採点ですから言わなかった。
2:27:58	別に何かこれいらぬ文章、要は敷地を適切に上げするんすけど、書いてあるイドちょっともし今あれば説明ください。
2:28:06	はい。北海道電力の河村です。こちら書いてある意図としては、現時点の、敷地の改変ですね、造成の掘削等を適切に反映していますといったところをイメージして書いたところなんですけども、
2:28:19	逆にわかりやすく、わかりづらくなってるかと思しますので記載を適正化したいと思います。
2:28:25	次ちゃう。別に適正間接ともどっかの後ろの方の天空種のところですかその辺なんか、こういった敷地の造成の履歴みたいのをちゃんと考慮してますっていう。要はイヌマキがあれば、
2:28:38	12 ページあまりごてごて角度もあるので、この点は、1 回、
2:28:43	記載が検討されるという理解しました。では続きまして、
2:28:48	13 ページ目をお開きください。もうこれ記載だけですけども、
2:28:53	四つめの丸ですかねこの真ん中に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:29:00	刺繍解析熱心。
2:29:02	硬質ん解決開発する条件で、
2:29:06	紙の状態としてモデル化しておるんなんか急に何か、これまでの記載の何か急に何か細かい話かなって印象があってこれも何か
2:29:16	ここでは何かもうちょっと何かさっきから、もっと細かい後ろに持ってくるとかですねそういうふうに、
2:29:21	しても、何時実際これ多分、格子設定ってすごいナグラ。
2:29:27	何メーターとかがあって、いや、何かパックにこれがもし 10 メーター間隔をこうしたらいいんじゃないっていうふうに、
2:29:33	思いがちですので、そこはちょっとわかるように、
2:29:36	心配だと思えますんで、いかがですかね。
2:29:39	はい。北海道電力の川村です。こちらで言いたいことは集水管とサブドレンをそれぞれモデル化してると、管路としてモデル化しているところを、
2:29:49	ご説明したいページになりますので今回ところは後ろにまわして、ここはもうちょっと簡潔に修正いたします。
2:30:03	規制庁大橋です。
2:30:04	パワポの 23 ページ。
2:30:06	23 ページの、
2:30:09	地下水の設定方針で、島根女川のサイトと比較している。
2:30:14	2-7 表なんですけど、
2:30:18	島根と女川については、自然水に対しては、保守的に設定した水っていう記載になってて、
2:30:25	一方泊 3 号機の方は、TP10 メーターより、
2:30:29	高井昭子のところは、自然水に基づき設定ということで、見た目ちょっと違いがあるんですけども、
2:30:37	泊の場合は、自然水に対して※1 がついてて、地下排水設備の機能に期待しないっていうのと、3 次元浸透流解析の
2:30:46	予測解析キーのことを自然水という、
2:30:50	島根女川については、説明ないんですけども、自然水って書いてあるぐらいなので、
2:30:57	地下水位低下設備の話がここには入ってこないんじゃないかなっていうふうにいえるんですけども。
2:31:04	そうするとですね、
2:31:06	両方、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:31:08	泊 3 号機と、ほか、島根女川では地下水排水設備の話が、
2:31:15	同条件だとすると、
2:31:17	泊の方は、先ほどから 3 次元浸透流解析は、
2:31:22	保守的な解析条件を、
2:31:25	モデルを用いて、予測した結果を使うっていう話。
2:31:31	が出てますので、
2:31:33	そのところを※1 の方で、少し、
2:31:37	記載してもらおうと。
2:31:39	何で島根と女川保守的って書いてあるんだけど、泊は、自然水をもとに、に基づいて設定しているっていうことで、保守性があるかっていうのが、見えてくると思うんですけど。
2:31:52	この点はどうでしょうか。
2:31:55	はい。北海道電力の河村です。島根 2 と女川 2 の記載が少し、かえって自然水に基づきという表現をしてるところなんですけども、
2:32:06	ちょっとこの表現の仕方悩んだところではあったんですが、女川の自然水と呼んでるのが資料を見る限りは、
2:32:17	A せ、地下水位低下設備の機能の直接低下設備の水位低下の影響が及ばない範囲の地下水、
2:32:27	ていうのを定義していたり、島根 2 では、浸透流解析結果、
2:32:33	においてを使うんだけどその浸透流解析結果は、地下水位低下設備の機能に期待しないものとかですわちょっと同じ自然水でも表現がばらついてたかなと思いましたので、
2:32:46	ここで当社としての自然水っていうのを明確に※1 で、こういったものですといったところを銘打ってですね、それに基づきというふうに表現したのはちょっと、
2:32:57	24 ページ 25 ページに続く、弊社としては、特に修繕水位 3 年、新通解析結果の予測結果、プラスアルファで何か裕度を持つっていう設定をしないといったところを考えましたので、
2:33:11	あくまで自然性に基づいて設定するというような表現にしております。ご指摘ありました通り、※1 のところで、弊社の自然水というのがそもそも、保守的な条件で保守的な地下水になってるんだといったところを、補足したいと思います。以上です。
2:33:28	通常、オオハシです。承知しました。
2:33:31	以上です。
2:33:35	衛藤規制庁フジモトですし、その他、この

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:33:40	資料に関しまして全般的にでも結構ですね、どなたか、
2:33:44	でしょうか。
2:33:57	既設フジワラですちょっと今庁内に今打ち合わせ、確認をします少々お待ちください。
2:34:10	ですね、ちょっと
2:34:11	これ、もうちょっとできます。
2:34:24	規制庁の山野ですけど、ちょっと1点だけ、22ページ。
2:34:33	ん。
2:34:37	それで、22ページの前に13ページで、これちょっと改めて確認ですけど、
2:34:43	結局
2:34:46	地下水排水設備の機能に期待するのは
2:34:51	建物構築物ですと。
2:34:53	で、一方、地表面設定っていうのは
2:34:57	と記載している。
2:34:58	対象分類の
2:35:00	施設なりですと、
2:35:03	衛藤。
2:35:04	三つ目が自然水に基づき設定でこれも三分ぐらいあるってことなんですけれども、
2:35:10	殊いわゆる順番。
2:35:13	3日以下で地下水位低下設備の機能、地下水排水設備の機能に期待するもの、ものはないと。
2:35:22	いう理解でよろしいでしょうか。中円盤より標高高とか、
2:35:26	是正説、SAの施設とかっていうのが、自然性に基づき設定ということですけど、一応念のための確認を。
2:35:33	さしていただけますか。
2:35:35	はい。北海道電力の川村です。すいません。明確に、ご指摘今のご質問理解できてるか改めて確認なんですけども、10円版で設置されるもので近づいて、排水設備の機能に期待し、
2:35:49	しないものはないのかというご質問だったと思うんですけど22ページで記載しています通り、現象、建屋等の主要建屋が、10番エリアに設置されてますので、
2:36:02	こちらは地下水排水設備の機能に期待する施設ということにしております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:36:10	規制庁の方です。22 ページで
2:36:14	緑と赤と黄色という分類されてますけど
2:36:19	緑、
2:36:21	伊賀伊井は、
2:36:24	地下水排水設備の機能を期待しない。
2:36:27	というふうに、
2:36:29	説明が解釈です。できるんですけど、そういう理解でよろしいでしょうかという確認です。はい。北海道電力の河村ですその繰り返しの通りです。以上です。
2:36:39	規制庁の阿南です。わかりましたその上で 22 ページのこの右下にある ※1 から 4 ですけど、
2:36:45	今後変更になる可能性があるという水準に書かれているんですけど、
2:36:50	この変更の可能性はいわゆる
2:36:54	もっと広い範囲で地下水排水設備の機能に期待する可能性っていうのはどのぐらいあるんでしょう。
2:37:01	北海道電力の川村です。今、現時点においても、こちらの方目から 1 から 4 で変更が可能があると書いてありますが、地下水の設定方針で変わり得るものはないという理解でおります。
2:37:16	規制庁野間です。ごめんなさい今時点ということではなくて、将来、
2:37:21	ですね、要はこの設置変更許可の、
2:37:24	審査の中で、この変更の可能性があるのかというのをお聞きしています。はい。北海道電力の川村です。今後においても変更する可能性はないものと考えておりますけどもすいません。ちょっと補足なんですけども、防潮店の外側にある屋外水路、
2:37:43	逆流防止設備とか、取水口の設定については今回の地下水設定方針のところから除外してますのでそれについてはそれぞれの成立性の御説明の段階において、
2:37:57	それぞれ地下水の設定についてご説明したいと考えております。以上です。
2:38:03	規制庁の方、わかりました。
2:38:14	うん。
2:38:16	規制庁深山です。は、8 ページ。
2:38:28	はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:38:30	8 ページちょっと、記載ぶりだけではないです中身の話は理解してはるんですけど三つ目の丸のところで、原子炉建屋等って書いてあるところ最後は、地下水排水設備を設置していたって切れてるんですけどここ、
2:38:42	機構における設計地下水設定の考え方です。
2:38:45	書くとしたら、であればこの書き方っていうのは、地下水排水設備の機能に期待し、
2:38:51	した地下水位を設定してる間っていう表現じゃないと。
2:38:55	これは何を説明してるのかよくわからなくなってるんですけど、
2:39:01	はい、北海道電力の幅野です。ご指摘の通り、ちょっと何を言いたいのかわからない記載になってるかもしれませんのでちょっと
2:39:08	記載内容について検討したいと思います。
2:39:12	はい。私の方は以上です。
2:39:16	こういう出せ、実施する機能を期待した。
2:39:22	1 番紙に設定させました。
2:39:34	該当電力の高橋です。
2:39:35	ちょっと機構人の時はですねまだちょっと考え方として地下水排水設備の機能に厳密に期待していたというよりはもう設計地下水が、
2:39:47	低くて、建屋には影響しないという、設計思想のもとに設計しておりましたので、ここ設備に対する何か機能を持たせていたということではないということで、こういう記載にさせていただきます。
2:40:05	さらに、
2:40:21	はい、辻東條です。はい。その辺はまた別途記載、適正化が必要があれば 1ngシーブスお願いします。その他、
2:40:28	全般的に何か規制庁が、
2:40:34	慶弔金ですけど今のご発言でちょっと確認だけなんですけど地下水低下設備に期待していなかったというそもそも防潮でここ締め切られていないような状況だったので、
2:40:47	そもそも地下水がそんなに上がるっていう前提がなかったからその機能に期待するしない以前に地下水位が低かったっていうそういう意味でおっしゃられたっていう。
2:40:59	はい。北海道電力の館その通りでございます、地下水がもともと低いという前提の最初の方にもありましたけど、一部多少、多少でこぼこするとは思いますが、平均的に見れば、
2:41:11	建屋に影響するような地下水は起こらないだろうという設計方針でございました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:41:23	はい。PWRの場合は 10 メートル程度、この資料に記載してございます まだそこまで近づいていないだろうという設計方針でございました。
2:41:33	すいません規制庁タダウチですけども、そうするとですねこの、
2:41:38	三つ目の、8 ページの三つ目の丸なんですけれども、地下水排水設備、
2:41:44	についてはこれ何の目的のために設置していくかっていうのが本来ある んじゃないですか、要は地下水設定ですねしか要は用途力とかねそんな ものを期待してたわけじゃないんですけども、
2:41:57	もうそもそもこういう目的で設置していたんだって話はあるんじゃないで すか。それを書けばいいような気がするんですけど
2:42:04	そうですねちょっとあの、記載の仕方のあれで、ちょっと考えます。一般 的に、当然一瞬項がありますと水が上がるのは当然あります。建物とし てそのすぐ近くに水がつくのはよろしくない。
2:42:18	事なので施工上、施工時、保守管理上もよくないのでそういった観点 で、地下水のそういう設備を設けてるとというのが事実でございますの で、ちょっとそういった、ちょっとどこまで、ちょっと書き方を少し検討させ ていただいて、
2:42:31	資料には修正させていただきたいと思います。ありがとうございます。
2:42:38	その他規制庁側からはよろしいですかね。はい。
2:42:42	じゃあ、北海道電力さんの方について何か確認したいこととかございま すか。
2:42:49	北海道電力の河村です。時間のない中、恐縮ですが適正化のところで 一番最初に、ご指摘ありました 5 ページのところですね。
2:42:59	あと枠の中の 1 ポチ目、矢羽根二つ目、こちらでポンプ容量の設定の ために必要なモデル条件妥当性保守性というのは、いらないんじゃない かという。
2:43:11	ご指摘がございましたけども、ちょっとマークした時にですね 15 ページ に、
2:43:19	目標本部の揚水量と解析値として比較して解析値の方が多いので今後 設工認なんかにあるポンプ容量の設定に用いる解析モデルとしての保 守的だよといったところ。
2:43:32	第 1 回のヒアリングコメントを受けまして追加したところではございま すけども、ちょっとここと繋がらないかなと思う。
2:43:41	で、聞いておりましたけど、ここはどう理解すればよろしいでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:43:46	規制庁藤原です。ごめんなさい。まず、5 ページを見た時にですね、まずポンプのいろいろ設問で決めます。
2:43:56	その解析モデルだとその使う条件とか幾つか項目はあるけども、モデルぐらいは
2:44:04	流用して、設工認なんかでそれを利用する、ただ、それどこまで保守性を考えるかというところについては、例えばですね透水係数を今そ、
2:44:16	セ許可で決めてるじゃないか、それをコーンにね、要はもう、
2:44:21	許可で決まったもんだから公務員じゃ、一切触れませんかということはないように、きちっとそこは許可で何を確認すべきかということだから、もしかしたらここは
2:44:31	何だろう、設計モデルの妥当性と保守性を確認する程度にとどめておいて、
2:44:38	設工認で定めるべき本プールチャンスそういったモデルを用いてまた改めて別途、
2:44:45	甲斐杉の条件、
2:44:47	透析層、或いは、今日三浦からお話ありましたように 100 立米とかに対して、実際解析で、
2:44:53	88、
2:44:55	要は、結構差があったりしてそこら辺の総合的な考察っちゃうのがあまりなされていない状況からするというパソコンをすごいきちっと条件って定めるべきものだろうと。
2:45:05	今日の議論はそういうふうな話かなと思ってました。イメージありますか。はい。北海道電力の川村です。ありがとうございました。等との設計地下水の設定に関しても結局最終的な
2:45:17	議論というのは設工認になるかと思しますので、それも含めて、設計値加瀬及びポンプ容量の設定のために必要な浸透流解析の解析モデル等の
2:45:29	妥当性や保守性についてっていうような、設置許可段階での書きぶりになるかなと感じましたけども、いかがでしょうか。
2:45:40	規制庁です。もう 1 回、私の頭にマツイてゆっくりちよつとすいません。北海道の桑村です。ポンプ容量の設定のための条件とかは、設工認でやりますよという、
2:45:52	堀田理解しておりますでいただいて設計地下水の設定に関しましても、結局は、設工認で浸透流解析の内容でしたり、条件等、議論させていただくことになると思しますので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:46:05	ポンプだけではなく、設計地下水の設定も結局同じことかなと私は感じました。ですのでここでポンプ容量の設定のために必要な話を抜くということではなくて、
2:46:17	この記載としては現状の記載はある程度生かしつつもあまり細かい条件等の話を書くのではなくて、大まかな方針を見ていただくというのが読めるように、解析モデル等の
2:46:31	妥当性保守性を、ていような書きぶりがよろしいかなと感じた次第です。
2:46:39	規制庁藤尾です。記載を令和お任せしますが、私が言うのはちょっとどっかにですね節項んで、条件等については
2:46:50	ずっとその確認をすると、そういった記載ぶりが必要かなと思うか知らんですこれまでの議論とか、はい。北海道電力の河村です。設問でご説明する内容として右側のSec設計地下水の設定ということで、
2:47:06	方針通り解析の内容予測解析結果といったところや下の方で、地下水排水設備のポンプ容量といったところも書いてございますが、この辺の切り分けといいますか、条件等をしっかり議論、議論するのは、
2:47:20	設工認後の用途、あくまで設置許可で議論するのは、方針的なところだよといったところが読めるように直せばいいかなと理解して、いたしました。以上です。
2:47:32	規制庁藤間です。はい。衛藤。そうですね。今私たちは許可と設工認、何をフクイするかという切り分けの話をさしていただきました。それを踏まえて、要は、今後、議論
2:47:44	しないといけない、或いは設問何を我々が何か宿題的なことから出さないといけないとか、そういった記載ちょっとベースをちょっと今考えないといけないっていうね。
2:47:54	申し上げた次第です。今の点については、よろしく願います。はい。
2:47:59	その他、僕、北電さん、北電の方から何か。
2:48:04	よろしいですか、本店さんの方も含めて、
2:48:07	いかがですかね。
2:48:09	北電からです。本店側からは、特にございません。
2:48:13	はい。規制庁藤尾です。わかりました。一応、ヒアリングの方については本日のヒアリングと、以上とさせていただきたいと思います。
2:48:23	以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。